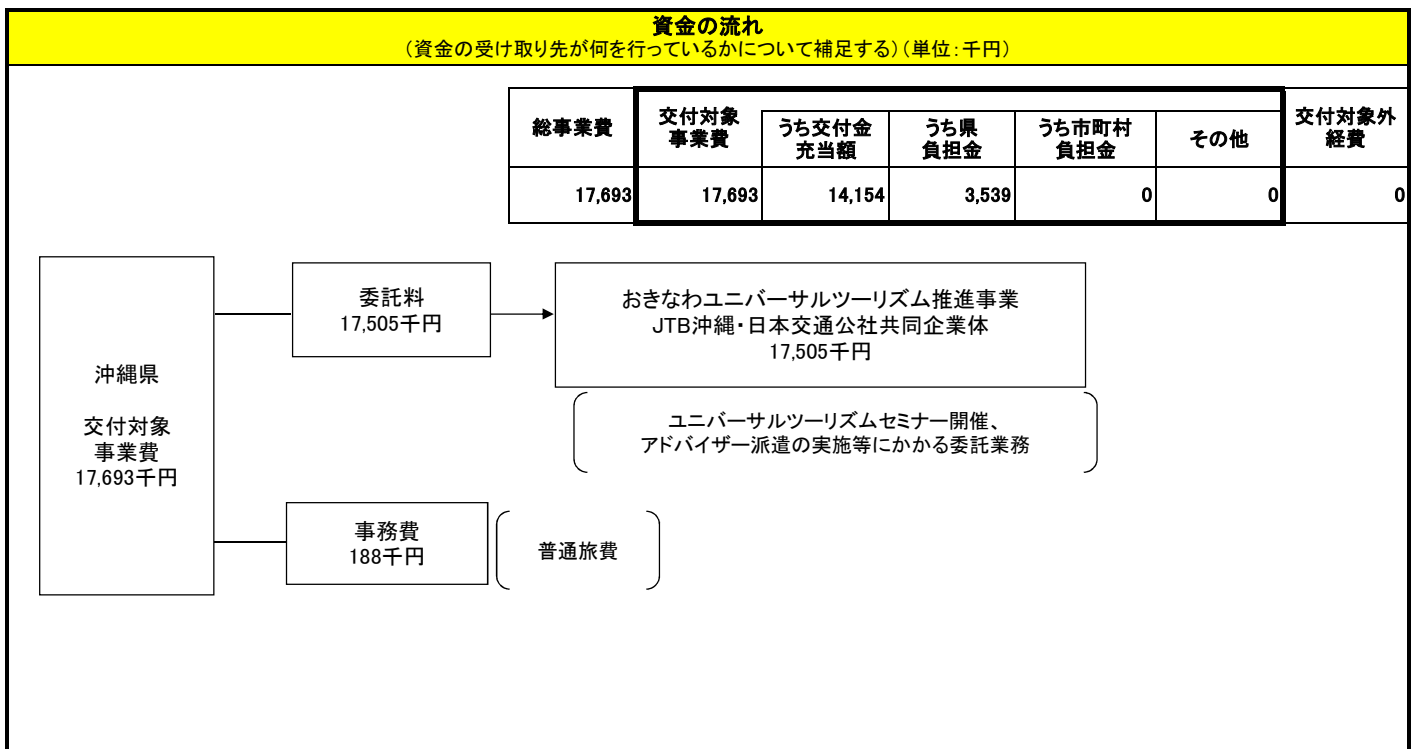


令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	136	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ア-③		
			多様な受入環境の整備				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H30 ~ R13 年度		沖縄振興基本方針該当箇所		
事業内容	沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者による多種多様な受入環境整備を促進するとともに、本県のユニバーサルツーリズムにかかる情報発信を行い、国内外の高齢者・障害者等の当事者のみならず、その家族・同行者等も含め沖縄観光に対する来訪意欲、満足度の向上を図ることを目的とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額【単位:千円】	予算の状況		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度
		(a)当初予算額	28,589		22,469		18,770
		(b)予算現額	28,589		22,469		18,770
		(c)増減額(b-a)	0		0		
		(d)前年度繰越額	0		0		
		A. 計(b+d)	28,589		22,469		18,770
		B. 執行済額	27,721		22,022		17,693
		うち交付金充当額	22,176		17,617		14,154
		C. 次年度繰越額	0		0		0
		執行率(%) (B/A)	97.0%		98.0%		94.3%
予算の状況の説明	・執行率は94.3%であり、不用の主な理由は、委託料の執行残によるものである。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	業種別のセミナー実施や観光バリアフリーアドバイザーの派遣	目標	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	
		実績	・セミナーを実施した ・アドバイザーを派遣した	・セミナーを実施した ・アドバイザーを派遣した	・セミナーを実施した ・アドバイザーを派遣した	・セミナー及びアドバイザー派遣(8回)	
	バリアフリー展示会への出展	目標	・展示会への出展	・展示会への出展	・展示会への出展	・展示会への出展	
		実績	・展示会へ出展した	・展示会へ出展した	・展示会へ出展した	展示会への出展(2回)	
旅行者・インフルエンサー及び高齢者・障害者等を含む家族などの招聘	目標	・旅行者・インフルエンサー等の招聘	・旅行者・インフルエンサー等の招聘	・旅行者・インフルエンサー等の招聘	・旅行者・インフルエンサー等の招聘		
	実績	・旅行者・インフルエンサー等を招聘した	・旅行者・インフルエンサー等を招聘した	・旅行者・インフルエンサー等を招聘した	-		
進捗状況説明	①観光関連事業者を対象としたセミナー及びアドバイザー派遣を8回実施した。 ②おきなわユニバーサルツーリズムのプロモーションのため、展示会に2回出展した。 ③旅行者・インフルエンサー等の招聘については、招聘者の事情により実施を見送った。→動画作成によるプロモーションに変更						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	①セミナーの受講者及びアドバイザーの派遣先に対し、バリアフリー対応の役に立ったか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		80%	80%	-	
		実績		98%	98.0%	-	
	②展示会来場者(個人客)に対し、沖縄への訪問意向(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		80%	-	-	
		実績		-	-	-	
	③観光関連事業者への調査で、高齢者や障害者等の受入れに関する取組みを行っている(36.0%以上)	目標			36%	-	
		実績			41.5%	-	
	④受講者100人以上(セミナー、アドバイザー派遣)	目標				100人	
		実績				210人	
	⑤ブース来場者200人以上(展示会)	目標				200人	
実績					243人		
⑥SNS等発信による閲覧者数1,000人以上	目標				1000人		
	実績				4052人		
達成状況説明	・セミナー及びアドバイザー派遣の受講者数は、210人となっており、目標を達成した。 ・ブース来場者は243人となり、目標を達成した。 ・SNS等発信による閲覧者数は4052人となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>前身事業の「おきなわ観光バリアフリー推進事業」から、令和4年度「おきなわユニバーサルツーリズム推進事業」に事業名を変更し、高齢者、障害者だけでなく「沖縄を訪れずすべての観光客が沖縄を楽しめるような受入環境整備」を図ることとしている。</p> <p>今後は、高齢者、障害者に加え、性的マイノリティの方、妊婦の方、病気療養中の方など、観光をする上で支援が必要となる方々の多種多様なニーズに応じた受入環境整備が必要である。</p>	<p>受入環境整備といってもハード面の整備だけでなく、観光関連事業者や県民一人ひとりが、「心のバリアフリー」を意識していくことで、世界から選ばれる持続可能な観光地形成を目指す。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・県内の観光関連事業者に対し、観光庁が創設した「心のバリアフリー」認定制度の周知を図り、同制度の認定事業者数を増やすことで、誰もが気兼ねなく参加できる「おきなわユニバーサルツーリズム」をさらに促進させる。</p>		



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途が事業目的達成の観点から必要なものかなどについて、額の確定検査時に支出に関する書類確認を行った結果、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	138	外国人観光客受入体制強化事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア-①			
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H27 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	①外国人観光客を県民が温かく迎え入れる気運を高めるため、県民向けにイベント、メディアを活用した外国人観光客受入意識向上のためのプロモーションを実施する。 ②外国人観光客の利便性の確保を図るため、外国人観光客向け多言語MAPやマナーブック等を製作し、県内事業者へ配布する。 ③ムスリム等に対応できる受入環境を整備し、当該観光客の増加等、特定地域に偏らない誘客に繋げるため、ムスリム等に対応できる食に関する受入マップの作成、セミナーの開催及び食の対応県内調査を実施するとともに、イスラム教の教えや生活習慣等の基礎知識をまとめたムスリム旅行者おもてなしハンドブックの増刷等を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	127,678		100,341		19,962
		(b)予算現額	127,678		100,341		19,962
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0		0		
		A. 計(b+d)	127,678	0	100,341	0	19,962
	B. 執行済額		108,126		93,832		19,597
	うち交付金充当額		86,501		75,066		15,678
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		84.7%	#DIV/0!	93.5%	#DIV/0!	98.2%
予算の状況の説明		・令和4年度予算は、令和3年度に比べ74,235千円減額となっているのは、観光人材育成・確保促進事業とインバウンド医療受入体制整備事業を単独事業に分けたことによるものである。 ・執行率は98.2%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	【受入ツール制作】 ①受入ツール作成	目標	7件	1件	1件	2件	
		実績	9件	3件	1件	2件	
	【インバウンド受入強化啓発】 ②-1WEBやSNS等を含めた各種メディアを活用した県民啓発の実施 ②-2県民個人や企業の受入環境整備を促す取組	目標	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	【食の多様性対応促進】 ③-1食の多様性に関する受入ツールの作成	目標				1件	
		実績				2回	
	③-2食の多様性対応セミナーの実施	目標	1回	1回	1回	2回	
		実績	2回	1回	2回	2回	
【インバウンドビジネスサポート】 ④インバウンドビジネスセミナーの実施	目標	7回	3回	1回	2回		
	実績	7回	1回	2回	2回		
進捗状況説明	①ウェルカムんちゅサイトのUI/UXを図るためサイトリニューアルを行うとともに、飲食店、ホテル等においてシートを指さすことで外国人観光客とコミュニケーションが取れる「指さしコミュニケーションシート」を開発し、ウェルカムんちゅサイトに掲載した。 ②-1外国人観光客受入意識向上のため、「ウェルカムんちゅ」動画を作成し、プロモーション活動を実施した。また、第7回世界のウチナーンチュ大会の開催に合わせ、参加者のインタビュー等をウェルカムんちゅサイトに掲載した。 ②-2インバウンド受入に係るおもてなしのコツ等に関するセミナーを開催し、県民及び事業者の受入意識の啓発を図った。 ③-1ムスリム・ベジタリアンに関するレシピ開発及びウェルカムんちゅサイトにおけるレシピ掲載を行った。 ③-2県内飲食事業者向けに食の多様性に関するセミナーを2回開催するとともに、セミナー講師からの個別相談会も実施した。 ④コロナ禍後のインバウンド戦略や今後のサステナブル観光をテーマに2回のセミナーを開催した。						

R4成果目標(指標)		基準値	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
		(〇〇年度)				(〇〇年度)
【受入ツール制作】 ①-1受入ツール配布数 ※配布ではなく、ウェルカムんちゅサイトへの掲載に変更	目標				2,000部	
	実績				HP掲載済	
①-2 受入ツールを配布した県内事業者に対し、ツールが外国人観光客の対応に役立ったか(80%以上)を含め、事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		80.0%	80.0%	80.0%	
	実績		96.4%	71.5%	79.6%	
【インバウンド受入強化啓発】 ②-1プロモーションの県民へのリーチ数 メディアPV数/GRP数	目標				5,000PV	
	実績				410,000PV	
②-2イベント参加人数	目標				100人	
	実績				31人	
②-3県民の外国人観光客をおもてなしの心で迎え入れる意識が向上したかを含め、事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		80.0%	80.0%	80.0%	
	実績		96.2%	80.2%	94.0%	
【食の多様性対応促進】 ③-1受入ツールの配布数 ※配布ではなく、ウェルカムんちゅサイトへの掲載に変更	目標				500部	
	実績				HP掲載済	
③-2セミナー参加者数	目標				各20名以上	
	実績				(1)15名 (2)26名	
【インバウンドビジネスサポート】 ④セミナー参加者数	目標				各20名以上	
	実績				(1)22名 (2)35名	
達成状況	<p>①-1作成した受入ツール(指さしコミュニケーションシート)は、各事業者がそれぞれのニーズに合わせてネット上で作成できる仕様としたため、配布ではなく、ウェルカムんちゅサイトへ掲載した。</p> <p>①-2インバウンド受入に係る特設サイトの閲覧者に対して、当該サイトが外国人観光客受入に役立ったかアンケートを行った結果、目標80%に対し、実績79.6%と概ね目標に達した。</p> <p>②-1テレビCM及びYoutubeを活用し、プロモーションを実施した結果、41万人(PV)にリーチすることができた。</p> <p>②-2インバウンド受入意識強化を目的にセミナーを開催したが、コロナ禍による外国人観光客の入国が制限されている状況もあり、目標値を下回る参加となった。</p> <p>②-3インバウンド受入に係る特設サイトの閲覧者に対して、当該サイトが外国人観光客受入に役立ったかアンケートを行った結果、目標80%に対し、実績79.6%と概ね目標に達した。</p> <p>③-1年間を通してムスリム・ベジタリアンに対応した飲食店等やレシピ開発を行っていたため、配布ではなく、ウェルカムんちゅサイトへ掲載し、広く周知を図った。</p> <p>③-2セミナー参加者(1)9/21「ANA機内食のユニバーサル化の推進」15名、(2)10/21「withコロナでも！今日から無理なく始めるフードダイバーシティ」26名と目標を達成した。</p> <p>④セミナー参加者(1)9/29「コロナ後の世界の旅行市場の動向と新しい日本のインバウンド戦略」22名、(2)10/18「沖縄が取り組んでいくサステナブルツーリズムと富裕層」35名と目標を達成した。</p>					

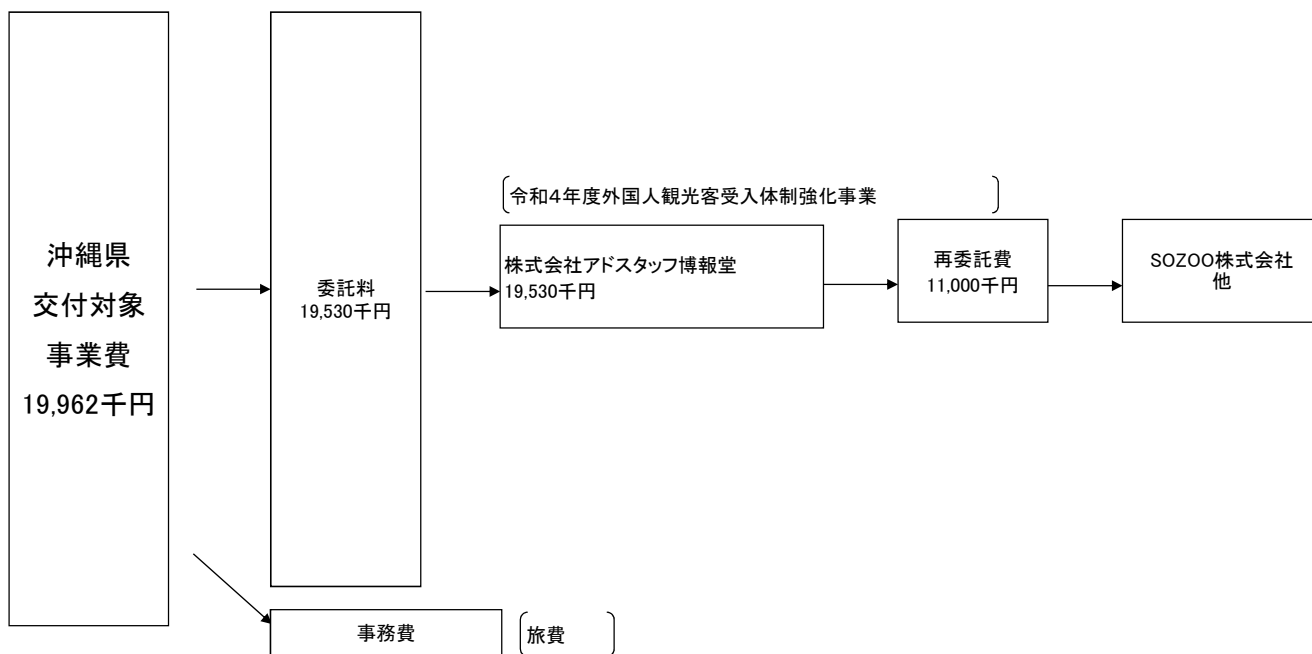
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人観光客数が前年度比皆減となった。</li> <li>沖縄県における「外国語対応能力」は年々上昇傾向にあるが、項目別の満足度については、依然低い値となっている。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、安全安心な医療体制提供について関心が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により減少した外国人観光客数の回復期に向け、県民の外国人観光客受入機運の向上を促進していく。</li> <li>引き続き、外国人観光客への外国語対応に関する取組みを行っていく。</li> <li>外国人観光客が安心して医療機関等を受診できるよう受入体制の整備を促進していく。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 引き続き、インバウンド受入ツールの作成やインバウンド受入に関する県民向けの意識啓発を行い、県民の外国人観光客受入機運の向上を促進し、外国人観光客の満足度向上を図る。
- 引き続き、外国人観光客の利便性の確保を図るため、インバウンドビジネスセミナーを開催しインバウンドビジネスの普及促進・高付加価値化を促進する。
- 引き続き、多様な食文化を持つインバウンド受入環境の整備を促進するため、県内飲食関連事業者向けに多様な食文化への対応に関するセミナーを開催する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
19,962	19,962	15,969	3,993	0	0	0



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。</li> <li>○事業内容に見合う適正な予算規模であった。</li> <li>○費目・用途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

<b>事業番号・事業名</b>	139	観光危機管理体制構築支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア-①		
<b>担当部署名</b>	文化観光スポーツ部観光振興課	<b>事業実施(予定)年度</b>	H29 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備  Ⅲ-1-(1)	
<b>事業内容</b>	観光地としての安全・安心を確保するという課題に対応するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界等と連携して観光危機管理に関する先導的な取組を実施する。 具体的には、①観光危機管理意識の醸成、②観光客受入体制強化支援、③観光危機管理訓練の実施、④市町村の観光危機管理計画策定支援、⑤関係機関との連携体制の構築を実施する。					
<b>効果発現年度</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)					
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )					
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)前年度繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 C. 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	R2年度 20,260 53,158 32,898 53,158 52,957 42,365 0 99.6%	R1年度(繰越) 0 0 0 0 #DIV/0!	R3年度 76,454 125,582 49,128 125,582 124,527 99,622 0 99.2%	R2年度(繰越) 0 0 0 0 #DIV/0!	R4年度 20,590 20,590 0 20,590 20,178 16,142 0 98.0%
	予算の状況の説明    執行率は99.2%であり、概ね計画的に執行できた。					
<b>活動目標(指標)及び進捗状況</b>	R4活動目標(指標)	進捗状況 R1年度    R2年度    R3年度    R4年度				
①市町村勉強会の開催	目標 実績	3回 1回				
②セミナー・シンポジウムの開催	目標 実績	実施 実施した 2回 1回				
③観光危機管理体制運用図上訓練の開催	目標 実績	実施 実施した 実施 実施した				
④観光危機マニュアル・安心安全ガイド等の刷新	目標 実績	実施 実施した				
進捗状況説明	①沖縄県観光危機管理計画の改定を踏まえ、市町村及び観光関連事業者に対してオンライン勉強会を開催したものの、③観光危機管理体制運用図上訓練の開催に係る調整等に時間を要したため、目標の年2回には至らなかった。 ②観光危機管理計画の策定意欲のある市町村に対して、セミナーを開催したものの、目標の年2回には至らなかった。 ③目標通り訓練を実施した。 ④観光危機マニュアルを刷新し、観光関連団体へ配布した。					

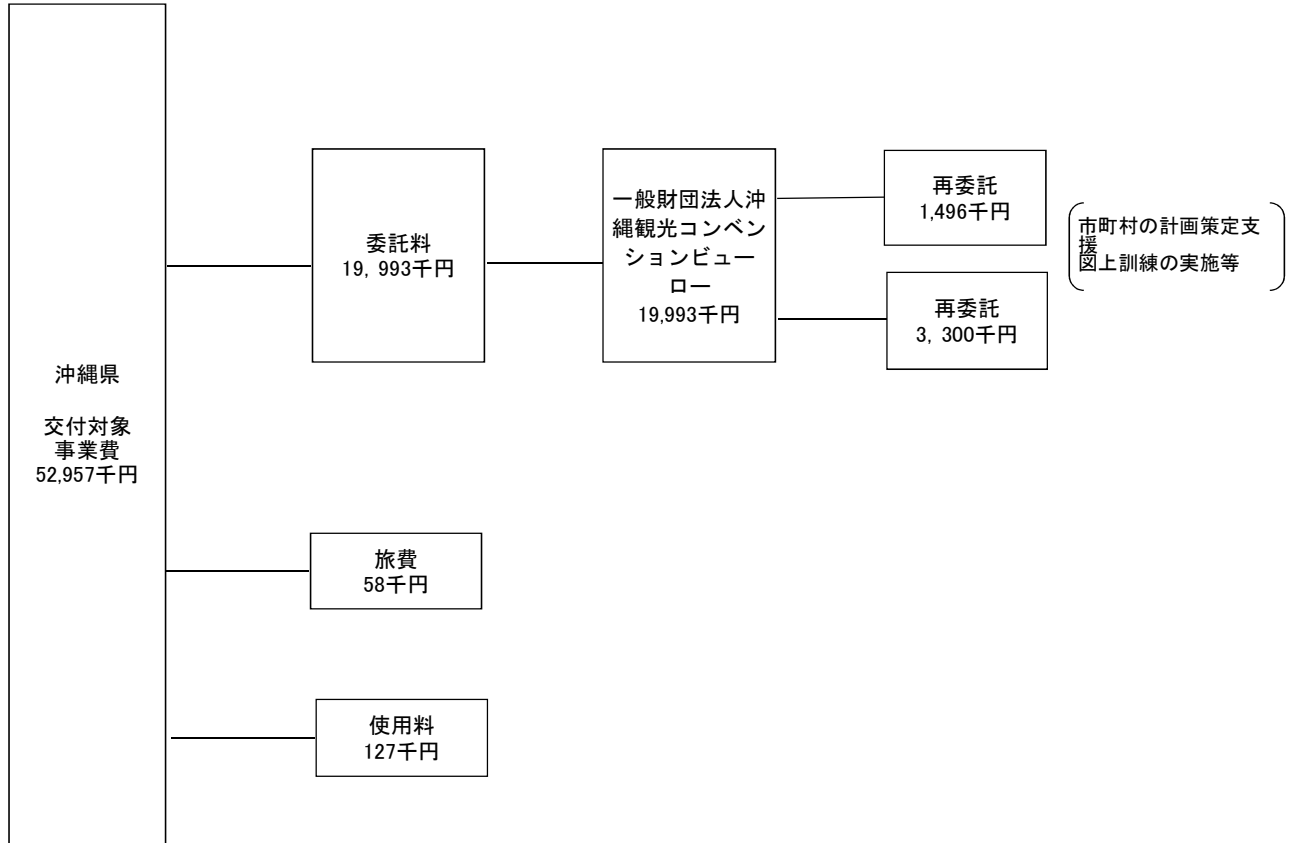
成果目標（指標） 達成状況	R4成果目標（指標）	基準値 （〇〇年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 （〇〇年度）
	①勉強会参加市町村数	目標			21件	
		実績			18件	
	②セミナー参加団体・事業者数	目標			20	
		実績			2	
	③訓練参加団体・事業者数	目標			20	
		実績			33	
	④観光危機管理に対する理解度	目標			80%	
		実績			91%	
達成状況説明	<p>①目標達成には及ばなかったものの、多くの市町村、観光関連団体等に対して第2次沖縄県観光危機管理計画の内容を理解してもらうことができた。</p> <p>②セミナーの効果を上げるため、観光危機管理計画を未策定の市町村で策定に意欲のあるものに絞ったため、目標値を下回る結果となった。</p> <p>③目標を上回る参加があった。</p> <p>④目標を上回る理解度が得られた。</p>					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
		「沖縄県観光危機管理基本計画」及び「沖縄県観光危機管理実行計画」は、令和3年度に改訂された。
<b>今後の取り組み方針</b>		
「沖縄県観光危機管理基本計画」及び「沖縄県観光危機管理実施計画」の改訂についての周知に取り組むとともに、改訂内容を踏まえた市町村の観光危機管理計画の改訂及び新規作成の支援を実施する。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
20,178	20,178	16,142	4,036	0	0	0



資金の流れ、費目、用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は、市町村、観光関係団体等と連携し官民一体となった観光危機管理体制の構築を図るものである。本事業を執行する上で、市町村や観光関連団体と横断的な連携を円滑に実施することができ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握しており、かつ公的な性質を持つ唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。  ○事業当初の活動目標及び成果目標を達成しており、適切な予算規模であった。  ○費目・用途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	143	Be.Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業		新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア-①		
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	多言語コンタクトセンターにおいて、多言語(英語・中国語・韓国語・タイ語)による観光案内や通訳サービス、台風襲来時等の災害サポート等を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 (    )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	54,358		42,720		32,119
		(b)予算現額	54,358		42,720		32,646
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	527
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	54,358	0	42,720	0	32,646
	B. 執行済額		46,359		42,718		30,131
	うち交付金充当額		37,087		34,174		24,105
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		85.3%	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	92.3%
予算の状況の説明		外国人個人旅行者の需要回復に向け、多言語による新型コロナウイルス感染症情報の案内対応を強化する必要がある、年度途中で委託費を増額。執行率は92.3%であり、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外国人観光客の利用者数が減少したことによる委託費の執行残が発生。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	多言語コンタクトセンター対応件数		目標	7,700件	3,000件	600件	720件
			実績	3,806件	283件	141件	315件
進捗状況説明	多言語コンタクトセンター対応件数については、新型コロナウイルス感染症の影響により目標値には達しなかったものの、前年度の実績の2倍を上回る315件の利用があった。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(25年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	①多言語コンタクトセンター利用者の満足度	目標		80.0%	80.0%	80.0%	
		実績		81.0%	93.3%	74.0%	
	②チャットボットの応答率	目標				95.0%	
		実績				100.0%	
	③チャットボットの解決率	目標				80.0%	
		実績				76.5%	
	④チャットボットの正等率	目標				70.0%	
		実績				76.5%	
	達成状況説明	①目標達成に至らなかったものの、多くの利用者のニーズに応えることができた。 ②100%目標値を達成することができた。 ③76.5%と概ね目標を達成することができた。 ④76.5%と目標を達成することができた。					

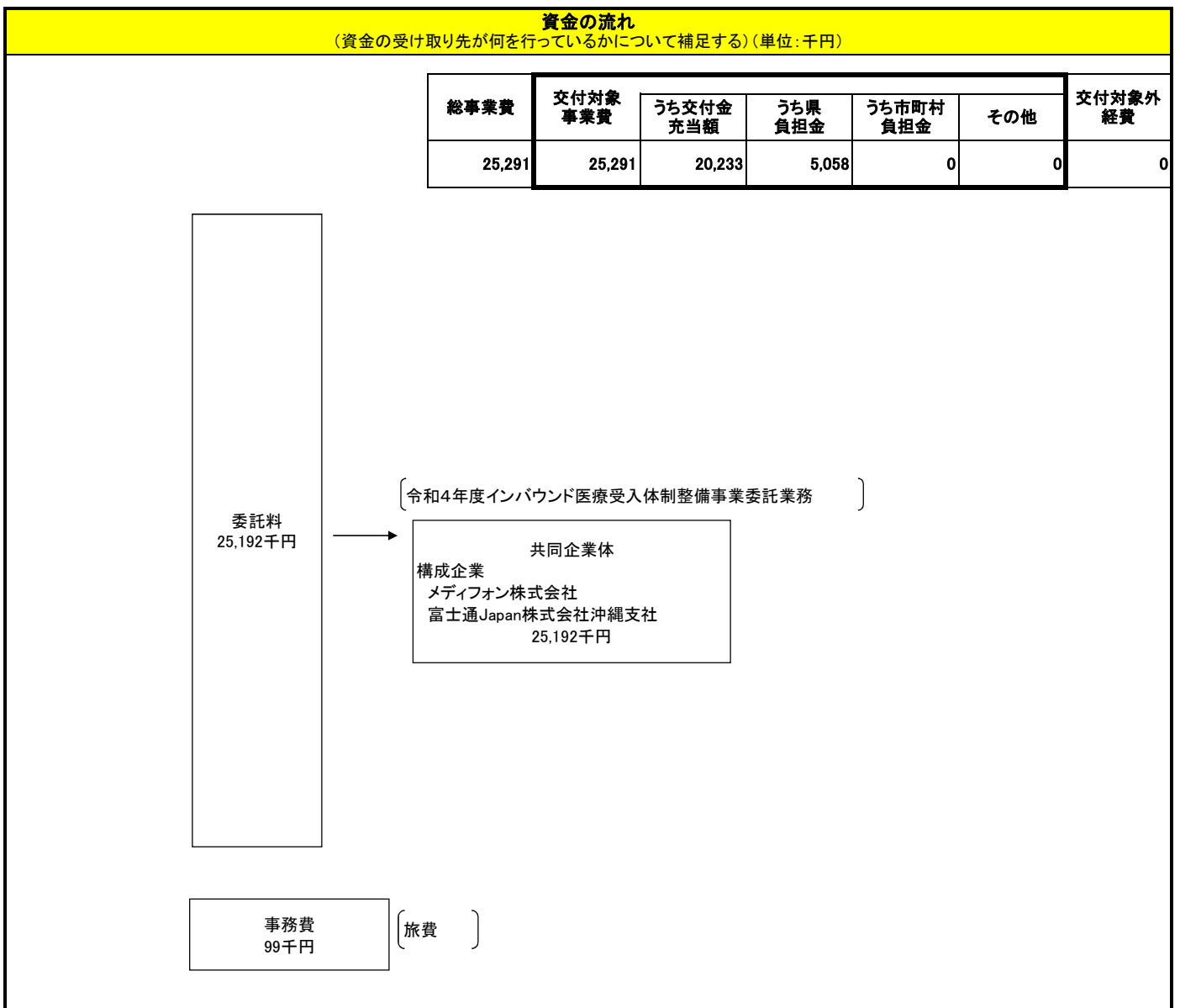
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者は前年度と比較し2倍を上回る実績となったが、前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことから、目標値には達しなかった。	引き続き、外国人観光客への外国語対応に関する取組みを行っていく。
<b>今後の取り組み方針</b>		
引き続き、事業者等の外国語対応を補完する役割を果たす多言語コンタクトセンターの整備拡充を通して、外国人観光客の満足度向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>うち交付金充当額</th> <th>うち県負担金</th> <th>うち市町村負担金</th> <th>その他</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">30,131</td> <td style="text-align: center;">30,131</td> <td style="text-align: center;">24,105</td> <td style="text-align: center;">6,026</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費	30,131	30,131	24,105	6,026	0	0	0	<pre> graph LR     A[委託料 30,131千円] --&gt; B[共同企業体 21,073千円 (構成企業) ・ランゲージワン株式会社 ・株式会社アドップ]     B --&gt; C[再委託費 9,058千円 ・株式会社アクティブリ्यूズ ・アクロスウェイ株式会社]             </pre>				
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費														
30,131	30,131	24,105	6,026	0	0	0														
資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明																	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。 ○事業内容に見合う適正な予算規模であった。 ○費目・用途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。																	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。																		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。																		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																		

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	144	インバウンド医療受入体制整備事業			新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア-①	
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H28 ~ R6 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	外国人観光客が急な病気・ケガに見舞われた場合でも、安心して沖縄観光が楽しめるような受入環境を整備するため、インバウンド対応医療コールセンターの設置や観光事業者向けに傷病者対応、保健衛生に関するセミナーを実施し、「安全・安心な島」の構築を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	127,678		100,341		25,357
		(b)予算現額	127,678		100,341		25,357
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	127,678	0	100,341	0	25,357
	執行率(%)	B. 執行済額	108,126		93,831		25,291
		うち交付金充当額	86,501		75,065		20,233
		C. 次年度繰越額			0	0	0
	執行率(%) (B/A)	84.7%	#DIV/0!	93.5%	#DIV/0!	99.7%	
予算の状況の説明	・令和4年度予算は、令和3年度に比べ74,984千円減額となっているのは、観光人材育成・確保促進事業とインバウンド医療受入体制整備事業を単独事業に分けたことによるものである。 ・執行率は99.7%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	コールセンターにおける応答率90%以上		目標	-	-	90.0%	90.0%
			実績	-	-	99%	99%
進捗状況説明	コールセンター応答率目標90%に対し、99%を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	インバウンド対応医療コールセンター利用者へのアンケートにより、外国人観光客に対する医療対応への寄与を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。		目標	80.0%	80.0%	80.0%	
			実績	91.2%	100.0%	83.3%	
	達成状況説明	医療機関向けにアンケートを実施し、コールセンターについて、外国人観光客(在日の外国人観光客を含む)の対応に役立ったかアンケートを行い、83.3%が大変役に立ったまたは、役に立ったとの結果を得、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・那覇空港国際線路線再開に伴い、外国人観光客受け入れが本格的に始まるため、問い合わせが徐々に増加し、医療機関の対応も増えると考えられる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、安全安心な医療体制提供について関心が高まっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせが増加した際にも、引き続き応答率90%以上を継続する。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に関する案内については、旅行者専用相談センター沖縄(TACO)など関連窓口と連携を図り、適切な窓口をスムーズに案内する必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の周知を充実し、より多くの県内医療機関で外国人観光客が受診できるよう取り組んでいく。</li> <li>・引き続きインバウンド医療通訳コールセンターの運営及び医療機関向けインバウンド対応相談窓口の充実させ、旅行者専用相談センター沖縄(TACO)との業務連携や情報共有を図りながら、外国人観光客の医療受入体制の整備を促進する。</li> </ul>		

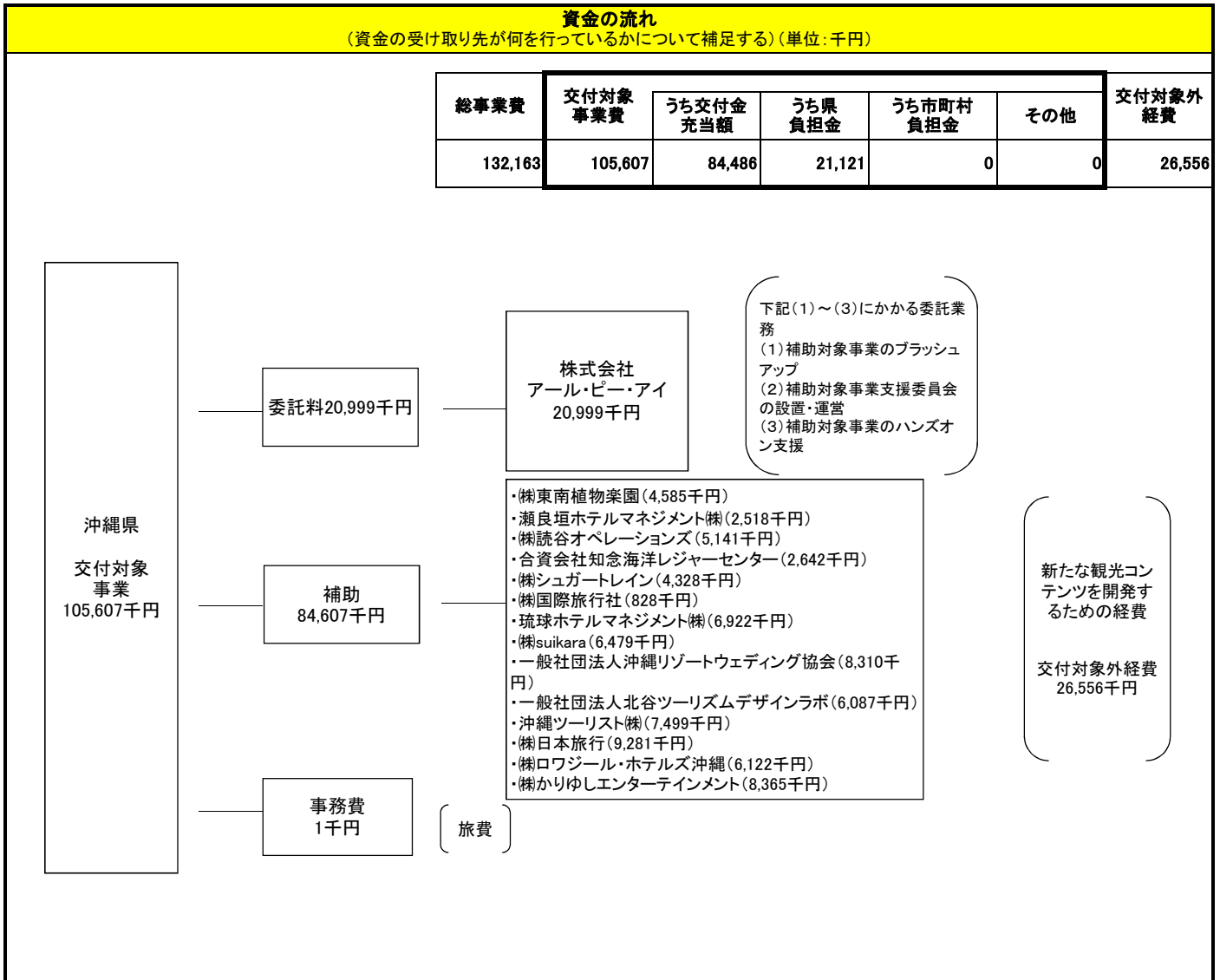


資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。</li> <li>○事業内容に見合う適正な予算規模であった。</li> <li>○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

## 令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	140 沖縄観光コンテンツ開発支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ-①				
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施 (予定)年度	H30 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄のソフトパワーを生かした ツーリズムの推進		
事業内容	民間事業者等の実施する沖縄のソフトパワー(歴史、自然、文化等)を活用した観光コンテンツ開発を支援することにより、観光消費額の向上や滞在日数の延伸等、沖縄の抱える観光課題の解決を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	88,309		81,903		121,187
		(b)予算現額	69,047		49,903		121,187
		(c)増減額(b-a)	▲ 19,262	0	▲ 32,000	0	0
		(d)前年度繰越額	0				
		A. 計(b+d)	69,047	0	49,903	0	121,187
	B. 執行済額		53,362		40,625		105,607
	うち交付金充当額		42,690		32,500		84,485
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		77.3%	#DIV/0!	81.4%	#DIV/0!	87.1%
予算の状況の説明		執行率は87.1%であり、不用の主な理由は、沖縄観光コンテンツ開発支援事業補助金における執行残。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	観光商品開発支援件数		目標	12件	12件	8件	10件
			実績	12件	5件	8件	15件
進捗 状況 説明	10件を目標としていたが、結果的には15件支援となった。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (〇〇年度)
	R2年度に補助を終了した事業における自走化割合		目標	70%	70%		
			実績	58.3%	80.0%		
	開発した観光コンテンツ利用者数		目標			10,000人	
			実績			11,134人	
	達成 状況 説明	開発した観光コンテンツ利用者数は11,134人となり目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	補助事業の自走化に向け、事業費を抑制しつつ、質の高い事業にするため、事業内容及びプロモーション方法等のブラッシュアップ、フォローアップを図る必要がある。	補助事業の自走化割合を高めるため、資金調達、総事業費のコンパクト化を含めた助言ができる支援体制の構築、新たなフォローアップ支援が必要である。
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>自走化支援アドバイザーチームを編成し、補助事業期間中に事業者が自走化に向けた体制を構築できるよう支援する。さらに、補助が終了した事業者に対しても適宜フォローアップ調査等を実施し事業を継続していくための助言を行う。また、過去支援した事業者と観光関連団体との商談会等のマッチング機会を創出する。</p>		

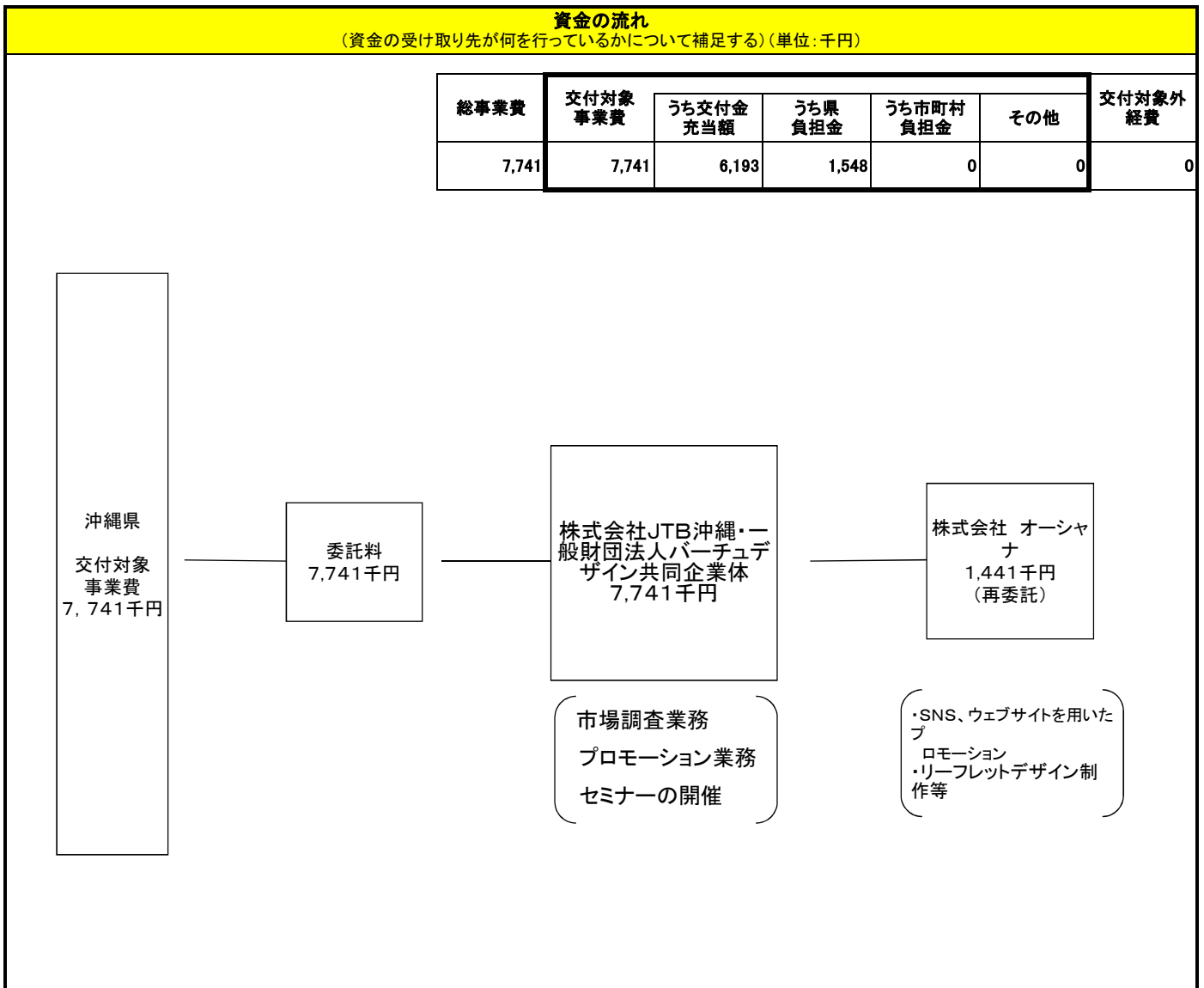


資金の流し、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者及び補助事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識、計画等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	146	マリンレジャー魅力向上促進事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	4章-3-(2)-ウ-①			
担当部署名	観光振興課	事業実施(予定)年度	R4 ~ R6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所			
事業内容	沖縄のマリンレジャーが観光客に提供できる魅力や価値について、磨き上げを行うとともに、プロモーションを通じて、観光客がマリンレジャー事業者の提供する安全・安心や質の高いサービス等を選ぶことができるよう取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					8,152
		(b)予算現額					8,152
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	8,152
	B. 執行済額						7,741
	うち交付金充当額						6,193
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.0%
予算の状況の説明		・沖縄県のマリンレジャー及び事業者の魅力を高めるため、令和4年度から新規事業として、マリンレジャー市場調査及びプロモーションに要する経費として委託料を計上した。 ・執行率は95%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	セミナー参加事業者数	目標				100	
		実績				184	
	SNS等での情報発信 リーチ数	目標				20万	
実績					32万		
進捗状況説明	・セミナーについては、年3回開催し、目標値を達成した。 ・SNS発信については、マリンレジャーアクティブ層が閲覧する広告媒体「オーシャナ」へ記事を3回投稿し、目標値を達成した。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	安心・安全やSDGsへの配慮に対する理解度向上	目標				80%	
		実績				83%	
	【R6年度 成果目標】安全安心やSDGsへ配慮したマリンレジャー事業者数		目標				20件
	達成状況説明	①マリンレジャー事業者を対象としたセミナーを年3回開催し、安全安心やSDGsへの配慮に対する理解向上に繋がり、目標値を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①マリンレジャー事業者が環境に配慮した取組を促すため、プロモーション拡大し、理解度向上を図る必要がある。	①マリンレジャー事業者が閲覧する広告媒体へのプロモーション回数を増加する。
<b>今後の取り組み方針</b>		
①市場調査の結果を基に効果分析を行い、環境に配慮した事業者をモデル事業者として紹介し、意識啓発へと展開する。		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般競争入札、企画提案プロポーザルなど事業の内容によって選定したため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業報告書等进行检查し、適正である事を確認した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	147	戦略的クルーズ観光推進事業		新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ-③			
	担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度		H24 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	質の高いクルーズ観光の推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	質の高いクルーズ観光を推進するため、展示・商談会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、寄港促進支援メニューを活用し、着地型観光の促進、周遊及び発着クルーズを戦略的に誘致に取り組むとともに、地域の受入体制の再構築・強化を図り、持続可能なクルーズ船の受入環境を構築する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	98,178		77,159		37,000	
		(b)予算現額	98,178		56,738		37,000	
		(c)増減額(b-a)	0		▲ 20,421		0	
		(d)前年度繰越額	0		0		0	
		A. 計(b+d)	98,178		56,738		37,000	
	B. 執行済額		92,621		54,063		36,423	
	うち交付金充当額		74,142		43,250		29,138	
	C. 次年度繰越額		0		0		0	
	執行率(%) (B/A)		94.3%		95.3%		98.4%	
予算の状況の説明		執行率は98.4%であり、主に委託料の執行残が生じたことによるものであるが、計画的に実行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	プロモーション実施地域数		目標	7地域	7地域	5地域	5地域	
			実績	7地域	8地域	8地域	5地域	
進捗状況説明		・令和4年11月15日から日本における国際クルーズの受入が再開され、令和5年3月から日本への寄港が予定されていたことから、クルーズが再開しているアメリカ、イギリス、フランス、オーストラリアを中心に、今後の邦船による沖縄発着の定着化を図るため日本の合計5地域において、船社及び消費者向けに沖縄のクルーズの寄港地としての情報発信、プロモーション活動を展開した。 ・令和5年3月に予定されている沖縄の小規模離島を周遊するエクスペディション・クルーズの実現に向けた寄港地の最終調整、沖縄発着のクルーズの可能性を模索している船社、外国船をチャーターした寄港を検討している旅行代理店を招聘したほか、国内外のクルーズ船社の責任者を招聘し、2年ぶりに沖縄でクルーズカンファレンスを開催し、今後の沖縄クルーズの復活に向けた関係者間での機運醸成を図るなど、今後の本格的な国際クルーズ再開に向けた素地を作った。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(R1年)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R13年度)	
	プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合(暦年)		目標	-	-	-	40.0%	47.0%
			実績	31.6%	-	-	100.0%	-
	達成状況説明		・令和2年3月以降、本県におけるクルーズ船の寄港は休止状態となっていたが、保健衛生・医療、港湾管理者、観光関連等の行政機関において構成される沖縄県クルーズ船受入協議会による当面の受入方針・受入対応を策定し、地域の受入協議会における合意を図った上で、R4.6月に本県におけるクルーズ船の受入が再開された。 ・令和4年12月(令和4年暦年)までの間に、邦船2社(プレミアムクラス、ラグジュアリークラス)による3本の運航、合計4回の寄港(平良港1回、本部港1回、石垣港2回)があった。 ※令和5年1月以降もクルーズ船の寄港はあったが、全国の港湾の寄港回数については、国土交通省が暦年で集計しており、成果指標も暦年で設定していることから、ここではカウントしていない。					

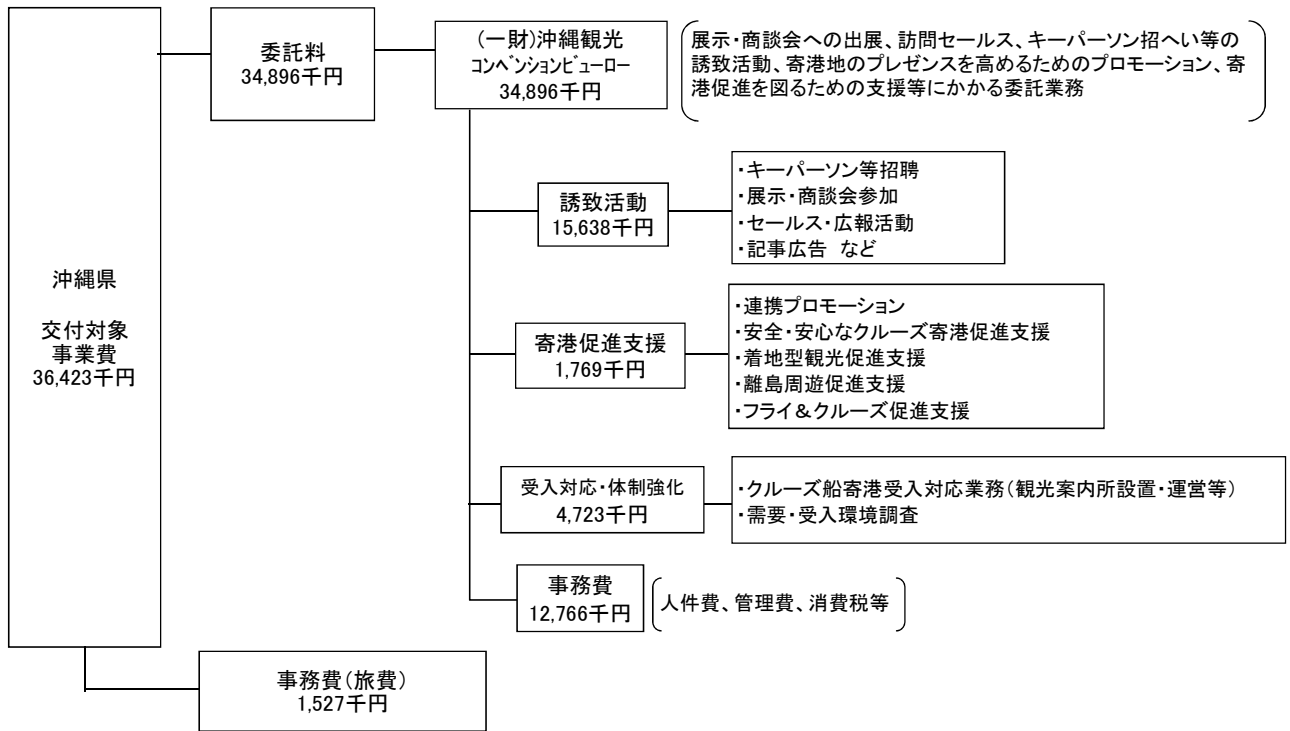
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年11月15日からは、日本における国際クルーズ船の受入が再開され、令和5年3月からは外国籍船による国際クルーズが再開された。</li> <li>約3年ぶりに外国籍船による国際クルーズが再開されることとなったが、長期化する新型コロナウイルス感染症により、受入団体、貸切バスやタクシーなどの二次交通のインフラが大きな影響を受けており、受入体制に課題がある。</li> <li>新型コロナウイルス初期に発生したダイヤモンド・プリンセス号による事実もあり、クルーズ船の寄港による感染拡大を懸念する声も一定程度あることから、クルーズ船社の取り組み等の周知に努め、クルーズ船の寄港受入にかかる地域の理解、協力を図っていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルーズ船の寄港に関係する港湾、観光、二次交通の受入団体の体制の再構築を図りながら、受入キャパシティを段階的に高めていく必要がある。</li> <li>クルーズ船の受入団体の体制強化を図ると同時に、クルーズ船の入出港する時間や乗客・乗員数を、SNS等で住民向けに発信することにより、交通渋滞やスーパーやタクシー利用時間の分散化を図り、住民を含めた地域全体の受入キャパシティを強化していく必要がある。</li> <li>クルーズ船社等と協力し、住民向けの乗船体験などの催しもいながら、クルーズ船に対する理解を深めていくことも重要な取り組みである。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・新・沖縄21世紀ビジョン基本計画において、質の高いクルーズ観光の推進を掲げており、寄港地を中心とした着地型観光、離島周遊によるエクスペディションクルーズ、沖縄の港湾を発着港とするフライ&クルーズを推進することにより、地域経済への波及効果を高める取組みを行うこととしている。  
 ・このため、各地域のクルーズ促進協議会等との連携強化を図り、受入キャパシティに応じたクルーズ船の誘致、寄港地観光・コンテンツの提案など、誘致・受入にかかる課題の共有や解決に向けて、官民一体となった取組みを引き続き推進する。  
 ・沖縄へのクルーズ観光の重要性を浸透させるため、クルーズカンファレンスの継続的な開催、クルーズ船寄港による経済効果の測定方法について検討していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金				交付対象外経費
		充当額	県負担金	市町村負担金	その他	
36,423	36,423	29,138	7,285	0	0	0



資金の流し、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となってクルーズ船の誘致・受入れの取組をしていくものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 ○コロナ後を見据えたこれまでの継続した取り組みの結果、国際クルーズの寄港再開、今後の沖縄クルーズの回復・発展に向けて船社等との関係を構築できた。 ○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

<b>事業番号・事業名</b>	148	沖縄観光グローバル事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ-② 多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開																																																													
<b>担当部署名</b>	文化観光スポーツ部観光振興課	<b>事業実施(予定)年度</b>	H24 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-1-(1)																																																												
<b>事業内容</b>	①海外からの新規路線就航及び既存路線の復便を図るため、航空会社商談会への出展やキーパーソン招聘等を行う。 ②海外からの直行定期便の新規就航を促すため、インセンティブとしてチャーター便の催行や地上ハンドリングに必要な費用を支援する。 ③海外からの直行定期便の新規就航を促すため、インセンティブとして新規定期便の就航初期の路線の安定化に必要な支援を行う。 ④海外からの既存路線の復便を図るため、インセンティブとして運航再開時の地上ハンドリング費用等を支援する。 ⑤⑥⑦海外の各市場から外国人観光客を誘客するため、海外で開催される旅行博に出展するほか、航空会社、旅行会社とタイアップしたプロモーションを行う。 ⑧外国人観光客を誘客するため、観光ブランドのビジュアルイメージ及び動画制作等を行う。 ⑨外国人観光客を誘客するため、WEBやSNSにて沖縄観光に関する基本的な情報を多言語で発信する。 ⑩外国人観光客を誘客するため、沖縄観光セミナー及び沖縄ナイトを開催し現地関係者とのネットワークを構築して更なる誘客の促進を図るとともに、那覇空港の国際旅客ハブ化に向けて経由便等を活用した誘客活動を航空会社等と連携して行う。 ⑪海外の富裕層の沖縄への旅行機会増加を図るため、エージェント及び旅行雑誌等の招聘や富裕層向け商談会への出展を行う。																																																																
<b>効果発現年度</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)																																																																
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )																																																																
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2年度</td> <td>R2年度(繰越)</td> <td>R3年度</td> <td>R3年度(繰越)</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>(a)当初予算額</td> <td>843,940</td> <td></td> <td>498,626</td> <td></td> <td>333,912</td> </tr> <tr> <td>(b)予算現額</td> <td>588,248</td> <td></td> <td>417,190</td> <td></td> <td>383,955</td> </tr> <tr> <td>(c)増減額(b-a)</td> <td>▲ 255,692</td> <td>0</td> <td>▲ 81,436</td> <td>0</td> <td>50,043</td> </tr> <tr> <td>(d)前年度繰越額</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>A. 計(b+d)</td> <td>588,248</td> <td>0</td> <td>417,190</td> <td>0</td> <td>383,955</td> </tr> <tr> <td>B. 執行済額</td> <td>585,322</td> <td></td> <td>403,286</td> <td></td> <td>373,799</td> </tr> <tr> <td>  うち交付金充当額</td> <td>468,258</td> <td></td> <td>322,629</td> <td></td> <td>299,039</td> </tr> <tr> <td>C. 次年度繰越額</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>執行率(%) (B/A)</td> <td>99.5%</td> <td>#DIV/0!</td> <td>96.7%</td> <td>#DIV/0!</td> <td>97.4%</td> </tr> </table>		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	(a)当初予算額	843,940		498,626		333,912	(b)予算現額	588,248		417,190		383,955	(c)増減額(b-a)	▲ 255,692	0	▲ 81,436	0	50,043	(d)前年度繰越額	0		0		0	A. 計(b+d)	588,248	0	417,190	0	383,955	B. 執行済額	585,322		403,286		373,799	うち交付金充当額	468,258		322,629		299,039	C. 次年度繰越額	0		0	0	0	執行率(%) (B/A)	99.5%	#DIV/0!	96.7%	#DIV/0!	97.4%	予算の状況の説明 2022年10月からの日本での海外個人旅行者の受入再開を受け、誘客活動を強化するために旅行博出展や現地イベントの開催等が年度半ば以降によったため、委託料において一部残が生じたものの、概ね計画的に執行できた。			
	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度																																																												
(a)当初予算額	843,940		498,626		333,912																																																												
(b)予算現額	588,248		417,190		383,955																																																												
(c)増減額(b-a)	▲ 255,692	0	▲ 81,436	0	50,043																																																												
(d)前年度繰越額	0		0		0																																																												
A. 計(b+d)	588,248	0	417,190	0	383,955																																																												
B. 執行済額	585,322		403,286		373,799																																																												
うち交付金充当額	468,258		322,629		299,039																																																												
C. 次年度繰越額	0		0	0	0																																																												
執行率(%) (B/A)	99.5%	#DIV/0!	96.7%	#DIV/0!	97.4%																																																												
	R4活動目標(指標)	進捗状況 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1年度</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> </tr> <tr> <td>①海外路線誘致活動強化事業 航空会社との面談・交渉回数</td> <td>目標 10件 実績 15件</td> <td>- 5件</td> <td>- 9件</td> <td>5件 20件</td> </tr> <tr> <td>②国際チャーター便包括支援事業 ・チャーター便催行支援 ・チャーター地上ハンドリング支援 ※R3年度まで便数。R4年度から件数。</td> <td>目標 5便・5便 実績 19便・4便</td> <td>3便・3便 0便・0便</td> <td>3便・3便 0便・0便</td> <td>1件・1件 0件・0件</td> </tr> <tr> <td>③定期便就航促進・活性化支援事業 ・新規定期便就航支援 ・新規定期便地上ハンドリング支援 ※R3年度まで路線数。R4年度から件数。</td> <td>目標 1路線・1路線 実績 3路線・3路線</td> <td>1路線・1路線 0路線・0路線</td> <td>1路線・1路線 0路線・0路線</td> <td>1件・1件 0件・0件</td> </tr> <tr> <td>④沖縄国際航空路線リバイバル事業 ・運航再開時支援(件数) ・地上ハンドリング支援(件数)</td> <td>目標 - 実績 -</td> <td>- -</td> <td>- -</td> <td>10件 10件</td> </tr> <tr> <td>⑤海外潜在市場活性化事業 プロモーション1箇所の実施</td> <td>目標 - 実績 -</td> <td>1箇所 0箇所</td> <td>1箇所 0箇所</td> <td>1箇所 0箇所</td> </tr> </table>					R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	①海外路線誘致活動強化事業 航空会社との面談・交渉回数	目標 10件 実績 15件	- 5件	- 9件	5件 20件	②国際チャーター便包括支援事業 ・チャーター便催行支援 ・チャーター地上ハンドリング支援 ※R3年度まで便数。R4年度から件数。	目標 5便・5便 実績 19便・4便	3便・3便 0便・0便	3便・3便 0便・0便	1件・1件 0件・0件	③定期便就航促進・活性化支援事業 ・新規定期便就航支援 ・新規定期便地上ハンドリング支援 ※R3年度まで路線数。R4年度から件数。	目標 1路線・1路線 実績 3路線・3路線	1路線・1路線 0路線・0路線	1路線・1路線 0路線・0路線	1件・1件 0件・0件	④沖縄国際航空路線リバイバル事業 ・運航再開時支援(件数) ・地上ハンドリング支援(件数)	目標 - 実績 -	- -	- -	10件 10件	⑤海外潜在市場活性化事業 プロモーション1箇所の実施	目標 - 実績 -	1箇所 0箇所	1箇所 0箇所	1箇所 0箇所																														
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																													
①海外路線誘致活動強化事業 航空会社との面談・交渉回数	目標 10件 実績 15件	- 5件	- 9件	5件 20件																																																													
②国際チャーター便包括支援事業 ・チャーター便催行支援 ・チャーター地上ハンドリング支援 ※R3年度まで便数。R4年度から件数。	目標 5便・5便 実績 19便・4便	3便・3便 0便・0便	3便・3便 0便・0便	1件・1件 0件・0件																																																													
③定期便就航促進・活性化支援事業 ・新規定期便就航支援 ・新規定期便地上ハンドリング支援 ※R3年度まで路線数。R4年度から件数。	目標 1路線・1路線 実績 3路線・3路線	1路線・1路線 0路線・0路線	1路線・1路線 0路線・0路線	1件・1件 0件・0件																																																													
④沖縄国際航空路線リバイバル事業 ・運航再開時支援(件数) ・地上ハンドリング支援(件数)	目標 - 実績 -	- -	- -	10件 10件																																																													
⑤海外潜在市場活性化事業 プロモーション1箇所の実施	目標 - 実績 -	1箇所 0箇所	1箇所 0箇所	1箇所 0箇所																																																													

活動目標（指標） 進捗状況	⑥海外新規市場開拓事業 ・プロモーション実施箇所数 (R1年度まで) ・欧米・東南アジア等で開催される旅行博へ出展 ・海外新規市場航空会社、旅行会社とのタイアップ、広告支援	目標	旅行博10地域 広告支援15社	14箇所	14箇所	8箇所
		実績	16地域・15社	8箇所(計15回)	14箇所(計68回)	8箇所(計115回)
	⑦海外重点市場誘致強化事業 ・プロモーション実施箇所数 (R1年度まで) ・特に重点市場としている台湾、韓国、中国、香港で開催される旅行博へ出展 ・海外重点市場航空会社、旅行会社とのタイアップ、広告支援	目標	旅行博4地域 広告支援9件	14箇所	14箇所	6箇所
		実績	9地域・3社	12箇所(計35回)	6箇所(計31回)	7箇所(計18回)
	⑧沖縄観光ブランド戦略推進事業 ・イメージ広告の展開(14か国・地域)	目標	動画等の制作3件 SNS発信2地域	SNS発信10地域	SNS発信10地域	14か国・地域
		実績	3件/14地域	13地域	17地域	28か国・地域
	⑨海外コンテンツマーケティング事業 (R2年度から)サイトアクセス数、SNSアクセス数 (R1年度まで) ・SNSを活用した情報発信 ・多言語観光情報サイトの更新	目標	SNS8言語 多言語サイト4言語	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,322,000件	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件
		実績	10言語・8言語	サイトアクセス数: 1,039,317件 SNSアクセス数: 1,309,928件	サイトアクセス数: 1,239,869件 SNSアクセス数: 1,160,818件	サイトアクセス数: 1,911,136件 SNSアクセス数: 1,575,601件
	⑩-1 沖縄国際観光イノベーション事業 (1)海外市場キックオフプロジェクト (R2年度から)キックオフプロジェクトの実施 (R1年度まで)沖縄ナイトの開催	目標	沖縄ナイトの開催	キックオフプロジェクトの実施	キックオフプロジェクトの実施	キックオフプロジェクト1カ所
		実績	開催した	実施できなかった	実施できなかった	実施できなかった
⑩-2 沖縄国際観光イノベーション事業 (2)沖縄国際旅客ハブ形成促進事業 (R2年度から)航空会社連携プロモーションの実施 (R1年度まで)国際旅客ハブ促進に繋がる旅行商品等への補助	目標	4社	航空会社連携プロモーションの実施	航空会社連携プロモーションの実施	航空会社連携プロモーションの実施	
	実績	3社	2社と実施	2社と実施	実施しなかった	
⑪(海外富裕層向けプロモーション事業) ・招聘の実施 ・富裕層向け商談会への出展	目標	プロモーションの実施	1件/1回	1件/1回	1件/1回	
	実績	プロモーションの実施	1件/1回	2件/2回	2件/1回	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年10月から日本での海外個人旅行者の受入が再開されたことを受け、年度半ばから各市場での誘客活動を強化したため、路線誘致、市場プロモーション(潜在市場を除く)、沖縄観光ブランディングにおいて、目標値を達成することができた。</li> <li>・海外コンテンツマーケティング事業のサイトアクセス数は、コロナの影響による取材作業の遅れで作成した記事の公開が後半によってしまったため、アクセス数の増加を図ることが出来なかった。</li> <li>・キックオフプロジェクトについては、海外現地での新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮し実施を見送った。</li> <li>・国際旅客ハブの形成促進に向けた航空会社等との連携事業は、事業内容の調整が整わなかったため実施を見送った。</li> </ul>					

R4成果目標(指標)		基準値 (H23年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (〇〇年度)
①海外路線誘致活動強化事業 ②国際チャーター便包括支援事業 ③定期便就航促進・活性化支援事業 新規路線就航数	目標	—	1路線	1路線	1路線	
	実績	5路線 (既存路線数)	0路線	0路線	1路線	
④沖縄国際航空路線リバイバル事業 運航が再開した路線・復便数	目標	—	—	—	4路線	
	実績	—	—	—	3路線・10社	
⑤海外潜在市場活性化事業 インド、中東、北欧からの観光客数	目標	—	600人	100人	3,900人	
	実績	—	0人	0人	0人	
⑥海外新規市場開拓事業 欧米、東南アジアからの観光客数	目標	—	5.5万人	29万人	3.9万人	
	実績	—	0万人	0万人	2.4万人	

成果目標（指標）及び達成状況	⑦海外重点市場誘致強化事業	目標	—	79.5万人	171万人	25.6万人	
	台湾、韓国、中国、香港からの観光客数25.6万人	実績		0万人	0万人	17.6万人	
	⑧沖縄観光ブランド戦略推進事業	目標	—	400万回	400万回	400万回・3,500回	
	・ブランド動画再生回数 ・SNSにおけるアクション数	実績	—	4,743万回	2,024万回	2,076万回・7,705回	
	⑨海外コンテンツマーケティング事業	目標	—	276万人	400万人	30万人	
	⑩-1 沖縄国際観光イノベーション事業 (1)海外市場キックオフプロジェクト	実績	30.1万人	0万人	0万人	20万人	
	・外国人観光客数(空路+海路)						
	⑩-2 沖縄国際観光イノベーション事業 (2)沖縄国際旅客ハブ形成促進事業	目標	—	660人	330人	100人	
	・連携プロモーションによる観光客数 100人	実績	—	0人	0人	未実施	
	⑪海外富裕層向けプロモーション事業	目標	—	2社	2社	2社	—
沖縄への富裕層の送客を取り扱う旅行社 2社	実績	—	1社	2社	2社	—	
達成状況説明	<p>・那覇空港国際線は約2年5か月ぶりに路線が再開し、台北、香港及び仁川の3路線が回復し、11社が復便、1社が新規就航した。</p> <p>・国際線の路線回復により、令和4年度の外国客は20万100人となり、3年ぶりに皆増となった。</p>						

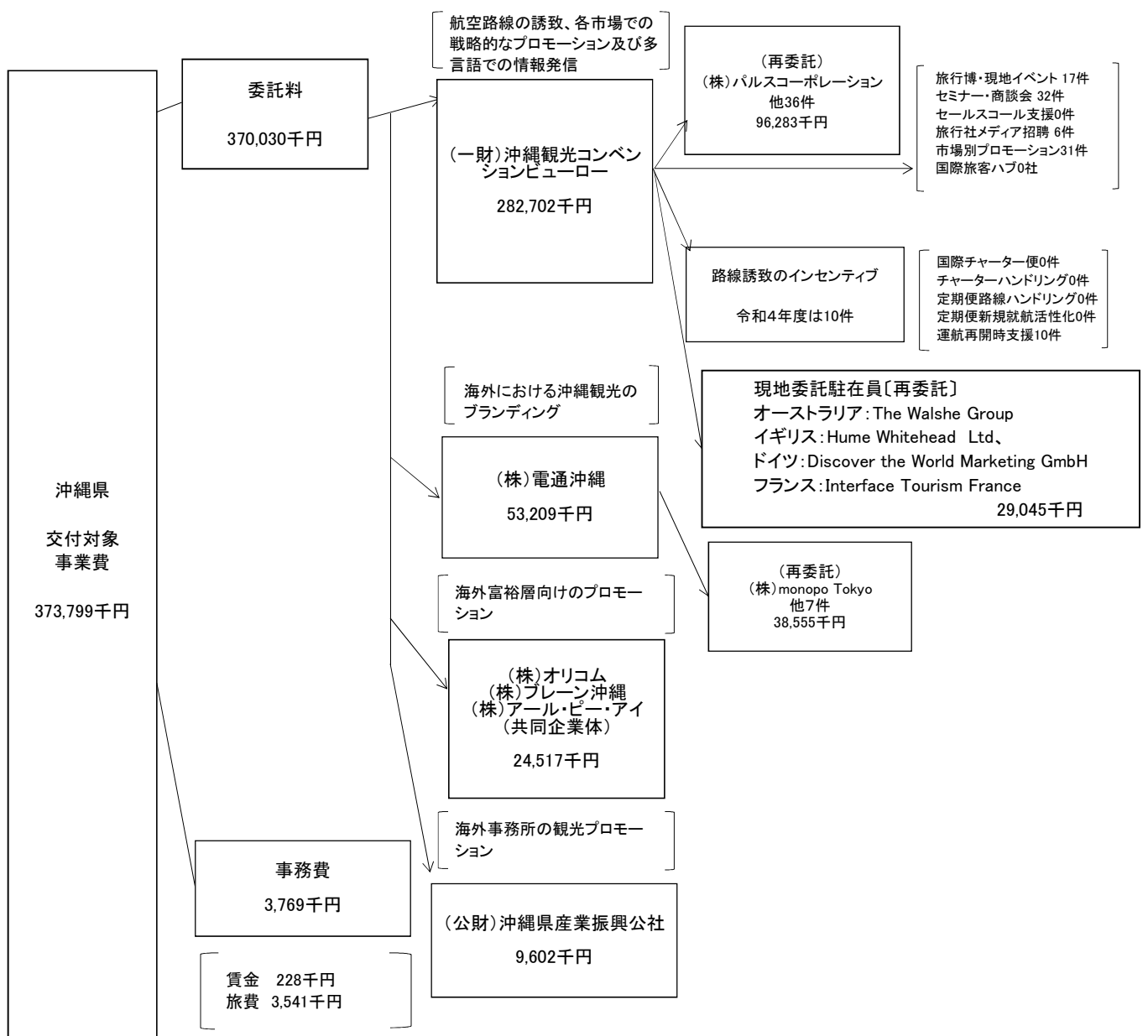
R4-No.148

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年4月29日午前0時から、新型コロナウイルス感染症法の水際対策が廃止となり、訪日旅行需要が高まるが見込まれる。</li> <li>・国内外の観光地において、インバウンド誘致の動きが本格化している。</li> <li>・運休となっている路線の回復に向けた取組が必要。</li> <li>・新規の航空会社が沖縄路線の開設に関心を示している。</li> <li>・空港のハンドリング及び保安検査員の人手不足が深刻な課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内のインバウンドの誘客体制の回復に向けて、県内事業者にも共同出展を呼びかける必要がある。</li> <li>・観光の質の向上(滞在日数の延伸及び消費単価の向上)に向け、各市場特性に応じた体験型観光を効果的に訴求する必要がある。</li> <li>・航空会社や旅行会社に対してセールス活動を強化することにより、新たな需要の創出や既存の需要の安定化を図り、路線回復や新規就航に繋げる必要がある。</li> <li>・空港の受入体制の整備に向けて他部局と連携して取り組み、那覇空港、新石垣空港及び下地島空港の路線回復を図る必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行博や商談会に出展する際に、県内事業者にも共同出展を呼びかけ官民一体となって誘客体制を整備することで、さらなる需要の創出を図る。</li> <li>・海外の現地旅行会社、メディア及びインフルエンサーを招聘し、沖縄本島や離島において、親子旅、女子旅、美容、ダイビングなどの体験型観光の訴求を強化する。</li> <li>・空港の受入体制の整備に向けて他部局と連携して取り組み、市場プロモーションと連動して旅客需要を創出し、那覇空港、新石垣空港及び下地島空港の路線回復を図る。</li> <li>・県内の受入体制を考慮しながら、新規の路線誘致に向けた取り組みを行っていく。</li> </ul>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
373,799	373,799	299,039	74,760	0	0	0



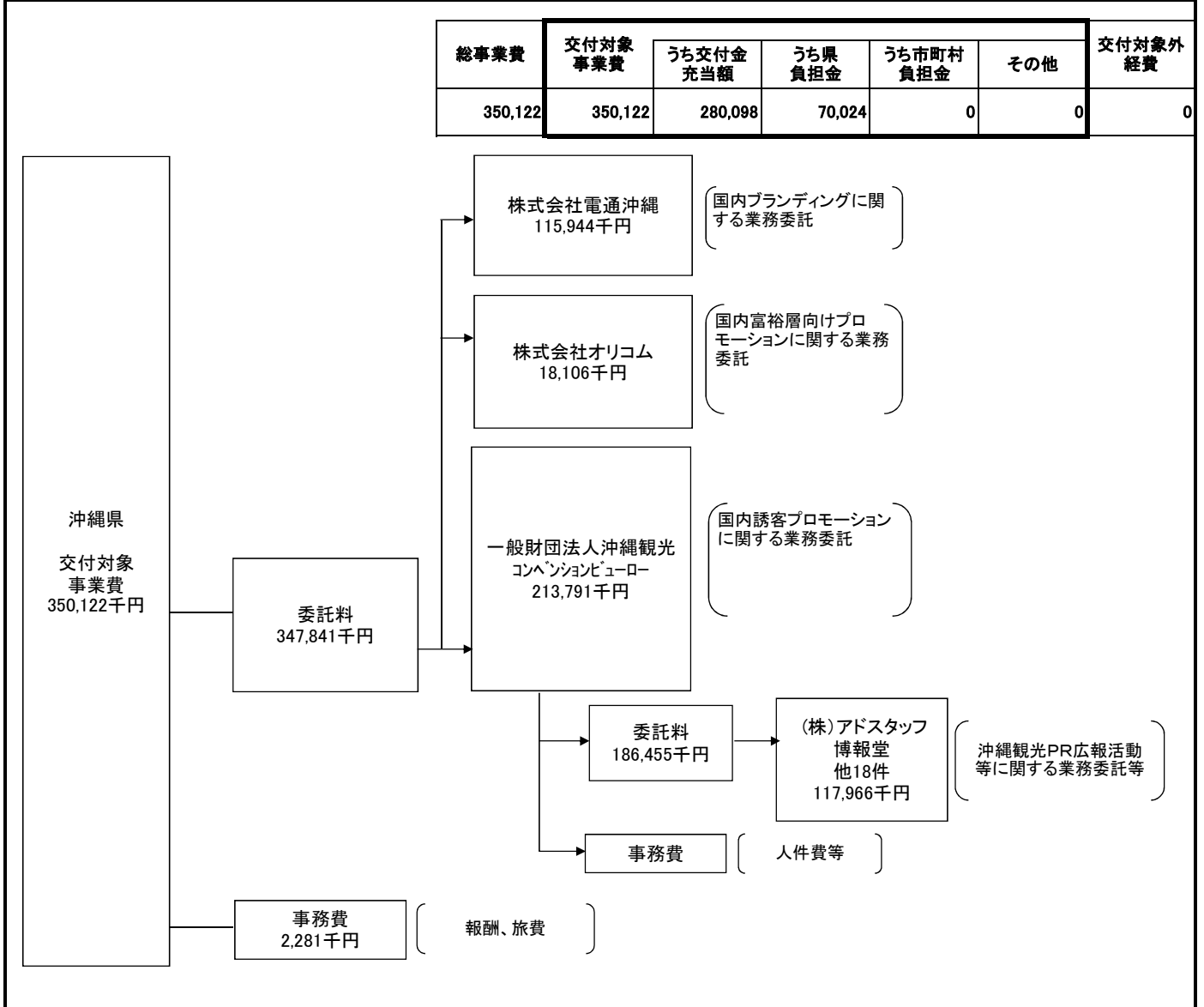
資金の流れ、費目、用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○観光関係業界等と連携を図り官民一体となって外国人観光客の誘致・受入の取り組みをしていくものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの随意契約は妥当であった。 ○事業内容に応じた企画提案選定業務を適切に実施し、事業の効果的な執行に向けて適切な評者を選定した。 ○事業当初の活動目標及び成果目標を達成しており、適切な予算規模であった。 ○費目・用途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	149	国内需要安定化事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ウ-②		
担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施 (予定)年度	H24 ~ R4 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開  Ⅲ-1-(1)	
事業内容	国内からの観光客誘致の安定的な基盤を形成するため、各種プロモーションの展開、沖縄未経験者層の新規需要開拓等を実施。また、Be.Okinawaの周知を図り、富裕層に特化した誘客活動を実施。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】			R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	224,714		398,462		351,722
		(b)予算現額	309,714		422,662		351,722
		(c)増減額(b-a)	85,000	0	24,200	0	0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	309,714	0	422,662	0	351,722
	B. 執行済額		304,510		405,292		350,122
	うち交付金充当額		243,608		324,233		280,098
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.3%	#DIV/0!	95.9%	#DIV/0!	99.5%
予算の状況の説明		・執行率は99.5%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R3活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	各種連携プロモーション		目標	25件	8機関	20件	20件
			実績	15件	10機関	29件	22件
進捗状況説明	連携プロモーション件数は目標を上回っている。						
成果目標(指標)及び達成状況	R3成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	入域観光客数(国内)		目標	750万人	800万人	800万人	
			実績	258万3千6百人	327万4千300人	677万4千600人	
	達成状況説明	・成果目標である国内入域観光客数(800万人)は、実績が677万人で、目標値を下回ったとはいえ、国内の需要が回復傾向にあり、徐々に航空路線の復便もみられ、着実に国内入域観光客数の増加につながった。 ・次年度以降の更なる国内入域観光客数の回復を図るため、各種プロモーション活動を実施し、旅行需要の維持に努めた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空会社の経営状況等により、地方路線を中心に提供座席数の変動などの影響を受けやすい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるものの、旅行需要は回復基調にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで打撃を受けた観光産業が徐々に回復傾向にある中で需要安定化を図る。</li> <li>・ブランディング及び富裕層市場に特化したプロモーションに重点をおき、沖縄観光の「量」から「質」への変容を想定した対応を行う。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き航空会社及び直行便就航地を中心とした地方空港等と連携した誘客プロモーションを強化し、旅行需要回復期における効果的な誘客プロモーションを実施する。</li> <li>・沖縄観光のブランド化に向けた取組を戦略的に実施するほか、富裕層に訴求するプロモーションを継続する。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となって国内観光客の誘致の取組をしていくものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 ○新型コロナの影響により成果目標は達成できなかったが、活動指標は当初目標を達成しており、適正な予算規模であった。 ○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	151	フィルムツーリズム推進事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ウ-①		
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H25 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	①沖縄の自然や文化、伝統、物産等を活用した映像コンテンツを通して観光誘客を図るため、沖縄ロケを実施する映画・ドラマの誘致を行うとともに、スムーズなロケ撮影のためのワンストップサービスを提供する。 ②沖縄国際映画祭を通して観光誘客を図るため、映画祭の開催期間中におけるシャトルバス運行や海外メディア招聘等の支援を行うほか、国内外の旅行博や沖縄関連イベントにおいて、沖縄国際映画祭のPR及び沖縄観光プロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	97,247		76,428		63,847
		(b)予算現額	65,855		76,428		63,847
		(c)増減額(b-a)	▲ 31,392	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	65,855	0	76,428	0	63,847
	執行率(%)	B. 執行済額	64,267		70,335		63,290
		うち交付金充当額	51,413		56,268		50,632
		C. 次年度繰越額			0	0	0
	執行率(%) (B/A)	97.6%	#DIV/0!	92.0%	#DIV/0!	99.1%	
予算の状況の説明	執行率は99%であり、概ね適正に執行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	①映画祭等への出展	目標	5箇所	10箇所	10箇所	3回	
		実績	5箇所	5箇所	8箇所	4回	
	②沖縄ロケ作品の支援件数	目標	20件	20件	20件	30件	
		実績	49件	15件	12件	27件	
	③沖縄国際映画祭を通じたイベント等の実施	目標	-	-	-	2回	
		実績	-	-	-	2回	
	進捗状況説明	①国内外の映画祭等へ出展(香港、東京の現地参加、オンラインを含む)し、これまでの支援作品の紹介等をおこない、ロケ誘致を図った。また、全ての出展において商談を実施し、映像制作関係者とコネクション強化に努めた。 ②本年度については、27件のロケ支援をおこなった。(内訳:国内23件、海外4件) ③大阪の吉本興業の劇場を活用し、沖縄国際映画祭を通じたイベントを2回開催した。					
	成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度
①フィルムツーリズム推進事業 映画祭等出展時の商談件数		目標		-	-	100件	
		実績		-	-	57件	
②フィルムツーリズム推進事業 TVや映画をきっかけとした来沖者数30万人		目標		-	-	30万人	
		実績		-	-	集計中	
③沖縄国際映画祭関連事業 イベント参加人数1,000人		目標		-	-	1,000人	
		実績		-	-	1,570人	
達成状況説明	①目標100件に対し、実績57件となり目標値を下回った。特にオンライン出展の際は、アポイントの取りづらさやダイレクトなプロモーションが難しい等の理由から商談実績が少ないものとなった。 ②令和4年度観光統計実態調査において集計中であり、令和5年10月に公表予定。 ③目標1,000人に対して1,570人と目標を達成することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<b>取組の検証</b> ①新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインを含むハイブリッド型の映画祭・展示会が増えたことから、商談時のマッチング成功率を上げる工夫をする必要がある。 ②離島を含む県内各地で映画・ドラマ等の制作が行われているが、一部、無許可でのロケや私有地への無断侵入等、県民が撮影による弊害を目撃しているという調査結果が出た。持続可能な観光を推進するため、対策を検討する必要がある。 ③新型コロナウイルス感染症によりイベント開催等の実施や規模が大きく落ち込んだことから、安心・安全なイベント作りに取り組み、実施回数・規模の回復を図る必要がある。	①ハイブリッド型の映画祭・展示会は積極的に現地に参加する。オンラインの実施の際は、アポイントの取り方やアピール方法を工夫する。 ②令和3年度に定めたロケ撮影により発生する弊害に対するガイドラインを広く周知・啓発し、撮影側・受入側双方に満足度の高いロケ地となるよう、受入体制の整備に取り組む。 ③イベント開催のガイドライン等を徹底し、安全・安心で参加しやすいイベントづくりを行う。新型コロナウイルス感染症の収束に伴い段階的に増加する外国人観光客も取り込めるようなイベント作りに取り組む。
今後の取り組み方針	
①新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少した国内外のマーケット出展、イベントの開催の取組を強化し、観光地及びロケ地としての沖縄の魅力を発信する。 ②引き続き、令和3年度に定めたロケ撮影により発生する弊害に対するガイドラインを広く、周知、啓発する取組を実施する。 また、新型コロナウイルス感染症の影響により、ロケの件数が減少しているため、既存の沖縄ロケ作品を活用したプロモーションも展開する。 ③イベントは現地開催のみならず、当日及び後日見られる配信等も含めて実施する。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
63,290	63,290	50,632	12,658	0	0	0
<pre>                     graph LR                         A[沖縄県 交付対象事業費 63,290千円] --&gt; B[委託料 63,290千円]                         B --&gt; C["(一財)沖縄観光コンベンションビューロー 22,341千円"]                         B --&gt; D["令和4年度フィルムツーリズム推進事業受託共同企業体 40,949千円"]                         C --&gt; E["【再委託】 合同会社PROJECT9.LLC 他1件1,899千円"]                         D --&gt; F["【再委託】 株式会社Wish Pro 他4件11,798千円"]                         E --- G["国内外の映画祭等ブース出展、ロケ支援、沖縄ロケ地魅力発信、情報発信・宣伝受入ツール作成等"]                         F --- G                 </pre>						

資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘察した上で選定しており、妥当であったと考えている。
○	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○費目・用途が事業目的達成の観点から必要なものかなどについて、額の確定検査時に支出に関する書類確認を行った結果、適正であった。
-	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	152	カップルアニバーサリーーツーリズム事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ウ-②		
担当部署名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H28 ~ R13 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開  Ⅲ-1-(1)	
事業内容	リゾートウェディング挙式組数の増加を図るため、カップルアニバーサリーーツーリズムを沖縄観光ブランドの一つと位置づけ、国内外に向けてプロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	46,908		49,365		39,500
		(b)予算現額	46,908		49,365		39,500
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	46,908	0	49,365	0	39,500
	B. 執行済額		46,286		48,981		39,360
	うち交付金充当額		37,029		39,185		31,488
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.7%	#DIV/0!	99.2%	#DIV/0!	99.6%
予算の状況の説明		執行率は99.6%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	国内フェア・海外フェア等におけるプロモーション回数	目標	8回	4回	8回	6回	
		実績	9回	9回	10回	8回	
進捗状況説明	国内フェア・海外フェア等におけるプロモーション回数について、目標値6回に対して、実績8回と目標を上回った。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	リゾートウェディング実施組数	目標		19,000組	14,000組	11,000組	
		実績		9,212組	12,540組	18,430組	
	達成状況説明	令和4年(暦年)の総実施組数は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が徐々に緩和され、人の動きが戻ったことから、過去最多の18,430組(対前年比146.9%)となり、目標を大きく上回る結果となった。					

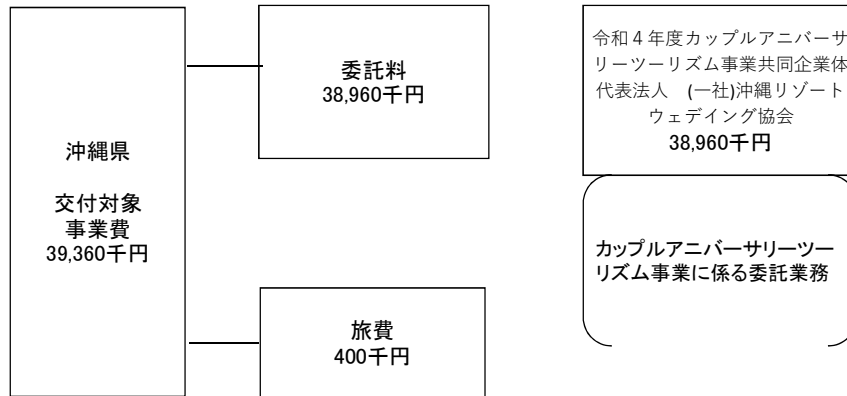
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①国内市場において、少子化や経済的な理由から結婚式をしない層、結婚式に意義を見いだせない「ナシ婚」層が一定程度いる。 ②沖縄リゾートウェディングの統計調査(沖縄県観光振興課実施)の結果から、単価の高い商品(チャペルウェディング)から手の届きやすい価格帯の商品(フォトウェディング)を選択するカップルが増えている。 ③国内・海外市場ともに、顧客ニーズが多様化する傾向にある。	①国内市場において、沖縄リゾートウェディングの価値の向上・浸透を図る取組が必要である。 ②国内外の市場において、高付加価値商品に重点を置いたプロモーションを実施する必要がある。 ③多様なニーズや実施数の伸びに対応するため、人材確保及び育成を図る必要がある。

**今後の取り組み方針**

- ①沖縄リゾートウェディングの価値の向上・浸透を図るため、沖縄リゾートウェディングのブランディングとして、イメージを訴求するツールを制作し、WEB・SNSもしくはイベント等を活用し、イメージの定着を図る。
- ②感染症や円安等の影響から、当面は海外渡航に慎重になることが想定されるため、国内及びアジア市場(台湾・香港)の海外意向層向けに高付加価値商品に重点を置いたプロモーションを実施し、需要の取込を図る。
- ③多様なニーズに対応しうる人材育成のため、事業者向けの研修等を実施し、受入体制の強化を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額				交付対象外経費
		うち県負担金	うち市町村負担金	その他		
39,360	39,360	31,488	7,872	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は、予算の範囲内でより効果的な事業を実施するため、事業者から広く企画提案書を募集し、文化観光スポーツ部内に設置する企画提案選定委員会(委員長:観光政策統括監)で提案内容を審議し、優れた企画を行った事業者を選定した。 ○費目・使途については委託料の検査時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

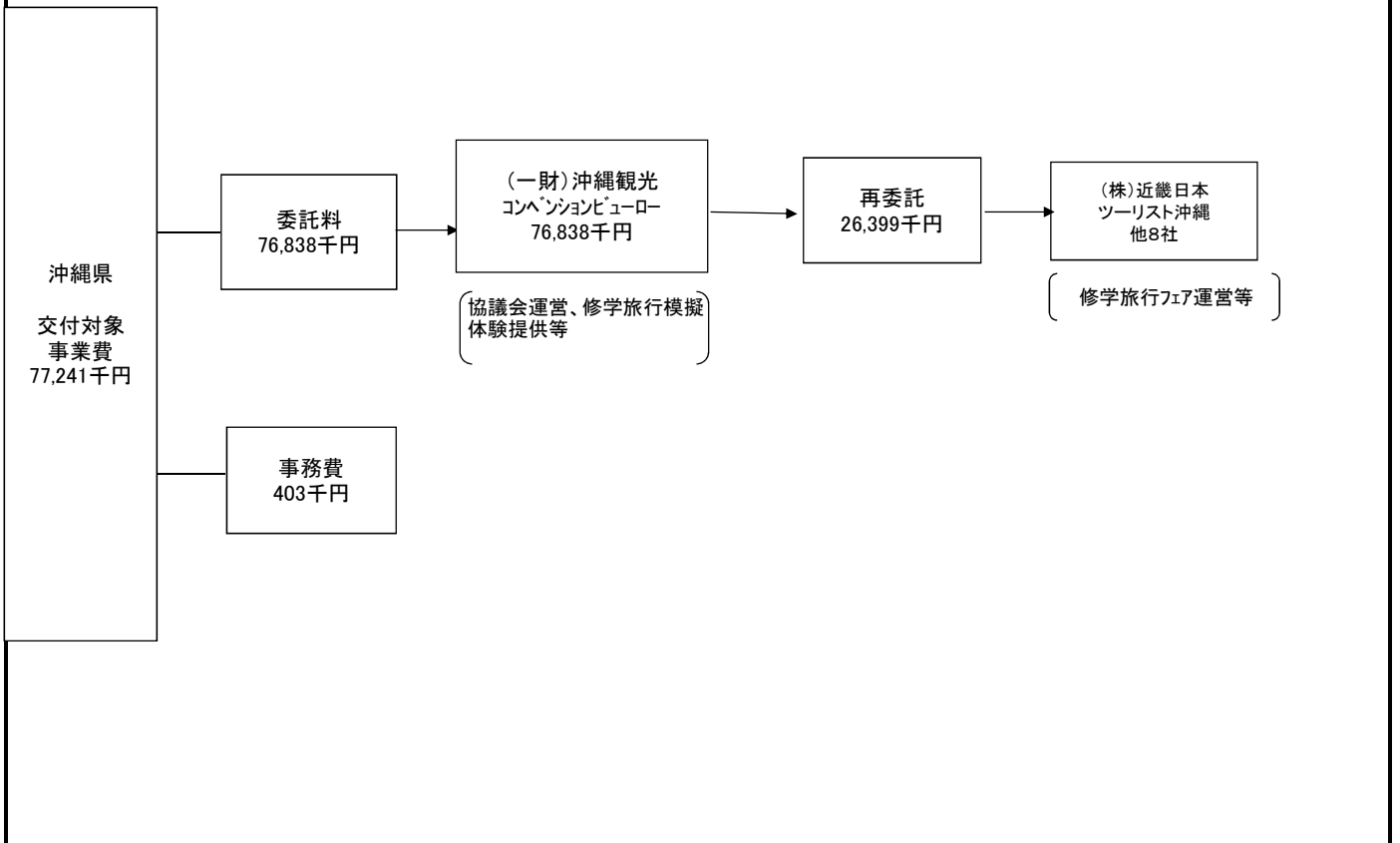
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	153 教育旅行推進強化事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(2)-ウ-②			
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H25 ~ R4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄への修学旅行を安定的に確保するため、沖縄修学旅行プロモーションの実施や実施予定校に対する事前・事後学習支援、商品造成の支援等を行う。また実施時期分散化など受入体制整備に向けた取組を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	99,748		78,393		78,393
		(b)予算現額	99,748		155,581		78,393
		(c)増減額(b-a)	0	0	77,188	0	0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	99,748	0	155,581	0	78,393
	B. 執行済額		97,999		69,995		77,241
	うち交付金充当額		78,407		55,995		61,793
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.2%	#DIV/0!	45.0%	#DIV/0!	98.5%
予算の状況の説明		・新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、今年度は大型催事の開催等もあり、執行率は98.5%と概ね計画的に執行を行うことができた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	プロモーション実施		目標	7回	6回	6回	6回
			実績	7回	3回	4回	7回
	修学旅行模擬体験		目標			14件	14件
		実績			19件	10件	
進捗状況説明	・プロモーションについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで開催が見送られていた大型催事の開催等があり、目標を達成した。 ・修学旅行模擬体験については、現地へ来訪してもらう必要があるが、新型コロナウイルスの影響により学校関係者等の派遣が難しい等の理由があったため、目標を達成出来なかった。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	プロモーション参加人数		目標			300人	
			実績			412人	
	修学旅行模擬体験提供		目標			28人以上	
			実績			27人	
	【R3年成果目標】 沖縄への修学旅行者数(国内)		目標	42万人(暦年)	40万人(暦年)		
			実績	7.4万人	6.2万人		
	【R3年成果目標】 沖縄への修学旅行者数(海外)		目標	3000人	-		
			実績	0人	-		
	達成状況説明	・プロモーションについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで開催が見送られていた大型催事の開催等があり、目標値を上回る数値を達成した。 ・修学旅行模擬体験については、現地へ来訪してもらう必要があるが、新型コロナウイルスの影響により学校関係者等の派遣が難しい等の理由があったため、目標値に僅かに届かなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の影響で、国内の小中高校数及び生徒数は、減少傾向にあるため、修学旅行の需要自体も減少傾向にある。また、新幹線の新規開業などにより、国内他地域との競合が激化している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、沖縄修学旅行からの他地域への方面変更が生じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内市場の減少が見込まれる状況において、国内修学旅行需要を継続的かつ安定的に確保していくため、沖縄の魅力や学習効果を発信する効果的なプロモーション活動や、学校のニーズに即した教育プログラムの造成及びプロモーションを実施する必要がある。</li> <li>・方面変更により減少が見込まれる状況において、海外や国内他地域から行き先を変更する学校に対して、沖縄への需要の取り込みを図る必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効果的なプロモーションを実施するため、プロモーションの開催エリア及び手法等の見直しを図る。また、修学旅行における商品のニーズや修学旅行受入にあたり障壁となり得る各種課題について調査・分析を行うことで、受入体制の強化を図る。</li> <li>・事前・事後学習の提供プログラムの拡充や模擬体験提供を通して、海外や国内他地域からの行き先の変更需要に対応し、新規実施校の獲得を図る。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
77,241	77,241	61,793	15,448	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当事業の執行にあたっては、県内外の観光関係者に公的性格及び中立的な性格を有すると認識され、かつ、総合的な対応窓口としての機能を有する必要があるが、(一財)沖縄観光コンベンションビューローはその要件に該当し、適当である。</li> <li>○予算規模、費目・使途については、額の確定時において、事業目的達成のための必要性等を支出に関する書類等により確認し、適正と判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号 ・事業名	155 ワークーション促進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ-② 第4章-3-(2)-エ-②			
	担当部課名	文化観光スポーツ部観光振興課 企画部地域・離島課		事業実施 (予定)年度	R02 ~ R13 年度		
多彩かつ質の高い観光の推進 DXによる沖縄観光の変革							
III-1-(1)							
事業内容	国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに「新しい生活様式」を踏まえた沖縄ワークーションを促進するプロモーションを行うとともに、ワークーション目的で来島する方などを対象として、離島等の現状等を学び・体験するモニターツアーを実施し、離島ならではのワークーションの魅力を発信していく。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算 の 状況	(a)当初予算額	13,173		62,717		85,218
		(b)予算現額	13,173		62,717		85,218
		(c)増減額(b-a)	0		0		0
		(d)前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	13,173		62,717		85,218
	B. 執行済額		13,173		61,112		79,999
	うち交付金充当額		10,538		48,890		63,999
	C. 次年度繰越額		0		0		0
	執行率(%) (B/A)		100.0%		97.4%		93.9%
予算の状況の説明		・離島におけるモニターツアーの実績減及び旅費の節減等により、93.9%の執行率となった。					
活動目標 (指 標) 及び 進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・ワークーション実施者や観光関連事業者などから沖縄でのワークーションを促進する上で必要な情報を収集する。	目標	-	ニーズ調査の実施	-	-	
		実績	-	ニーズ調査を実施した	-	-	
	・沖縄ワークーションのモデルプランを作成のうえ、情報発信していく。	目標	-	モデルプランの作成及びプロモーションの実施	-	-	
		実績	-	モデルプランの作成及びプロモーションを実施した	-	-	
	・プロモーション実施数	目標	-	-	4回	4回	
		実績	-	-	4回	5回	
	・沖縄県内のワークーション情報の集約 ・沖縄ワークーションWEBサイト立ち上げ運用	目標	-	-	-	情報を集約するWEBサイト立ち上げる	
		実績	-	-	-	情報を集約したWEBサイト立ち上げた	
	・離島におけるモニターツアー参加者数	目標	-	-	30人	-	
		実績	-	-	38人	-	
	・地域交流型モニターツアーの開催	目標	-	-	-	5回	
実績		-	-	-	5回		
進捗状況説明	・プロモーションについては、情報誌への掲載、セミナーの開催、関係者の招聘、イベントへの出展など、年間を通じ、様々なプロモーションを実施した。 ・地域交流型モニターツアーについては、計画5回に対し、実績で5回となった。						

成果目標（指標） 達成状況	R4成果目標（指標）		基準値 （〇〇年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 （〇〇年度）
		目標	—	80%	—	—	—
・広告閲覧者における沖縄ワーケーション実施希望割合	目標	—	80%	—	—	—	—
	実績	—	96%	—	—	—	—
・報告書の作成	目標	—	作成する	—	—	—	—
	実績	—	作成した	—	—	—	—
・ワーケーション目的の来県者数	目標	—	—	10,000人	1,0000人	—	—
	実績	—	—	44,858人	45,390人	—	—
・地域交流型のワーケーションを通して、今後も離島でのワーケーションを行いたいという意向を持った人の割合	目標	—	—	80%	—	—	—
	実績	—	—	94%	—	—	—
・地域交流型モニターツアー参加者数	目標	—	—	—	40人	—	—
	実績	—	—	—	40人	—	—
達成状況説明	<p>・ワーケーション目的の来県者数については、令和4年度観光統計実態調査の結果、45,390人となり、目標を達成した。</p> <p>・地域交流型モニターツアーについては、目標どおり、40人が参加のうえ、実施することが出来た。</p>						

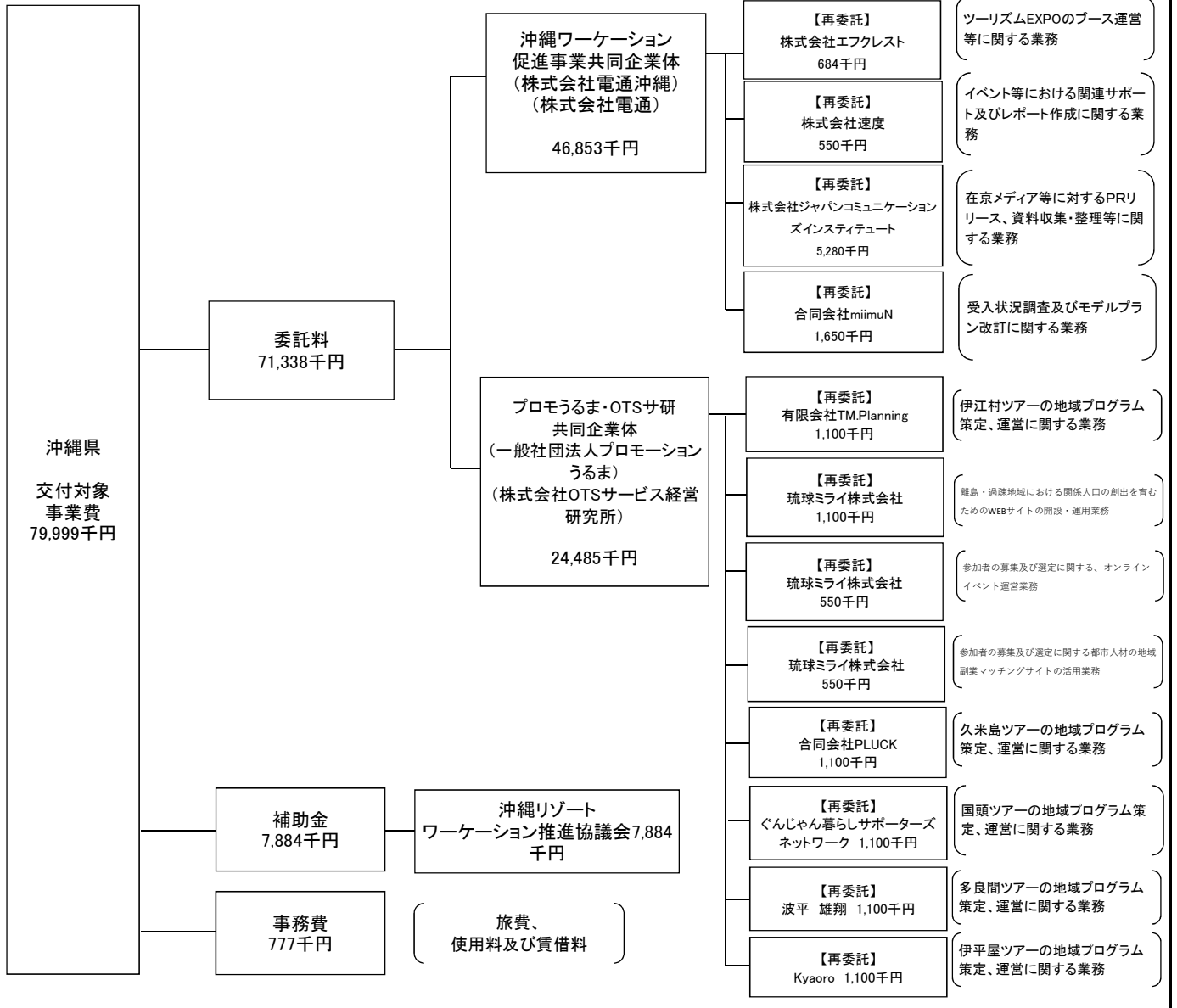
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	<p>・ワーケーションについては、全国的に各自治体においても推進していることから、沖縄の強みを活用したワーケーションを訴求することや戻りつつあるインバウンドへの対応が必要である。</p> <p>・離島におけるモニターツアーについては、地域課題等に触れる地域交流型ワーケーションに一定の需要があることが確認できたことから、他地域への展開を図っていく必要がある。</p>	<p>・観光誘客の新たな切り口であるワーケーションについては、ウェルネスなど、沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施するとともに、企業の課題に沿ったワーケーションの提案や海外に対する情報発信等に取り組む。</p> <p>・離島におけるモニターツアーについては、地域交流型ワーケーションの取組モデルとして実施地域を拡大し、横展開を図るとともに、沖縄の離島・過疎地域ならではのワーケーションとして積極的に情報発信を行う。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・沖縄におけるワーケーションの普及については、他地域と差別化を図るため、ウェルネスやウェルビーイングなど、沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施するほか、企業の課題を把握のうえ、沖縄でのワーケーションを提案するとともに、海外からのインバウンドが戻りつつあるため、沖縄におけるワーケーション情報の集約・発信ができるプラットフォームの多言語化等に取り組む。</p> <p>・対象地域やツアー内容等の修正や発展を図りながら、離島・過疎地域ならではのワーケーションの魅力向上及び継続的な関わりを持てる環境づくりを行う。</p>		



資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
79,999	79,999	63,999	16,000	0	0	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により、提案内容、実施体制、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・用途については、事業目的達成の観点から真に必要な費用なのかなど、額の確定時において、支出等に関する書類により確認しており、適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	156	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ-①			
担当部署名	文化観光スポーツ部文化振興課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R8 年度	沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行商品造成に向けた説明会等の実施</li> <li>・公演団体への補助による舞台公演の実施</li> <li>・観光施設等と連携した文化体験プログラムの実施</li> <li>・県外プロモーション公演の実施</li> </ul>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	30,625		29,545		29,545
		(b)予算現額	13,625		61,557		29,545
		(c)増減額(b-a)	▲ 17,000	0	32,012	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	13,625	0	61,557	0	29,545
	執行率(%)	B. 執行済額	9,193		59,724		27,409
		うち交付金充当額	7,354		47,779		21,928
		C. 次年度繰越額			0	0	0
	執行率(%) (B/A)	67.5%	#DIV/0!	97.0%	#DIV/0!	92.8%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算額は、旅費、委託料、補助金を計上し、文化資源を活用した新たな観光メニューを確立させるため、公益財団法人沖縄県文化振興会への委託及び公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団等への補助を実施した。</li> <li>・執行率は92.8%となっており、主に委託料の執行残が生じたことによるものである。</li> </ul>						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	公演団体への補助金	目標	4件		3件		
		実績	4件		3件		
	旅行商品造成に向けた説明会等の実施:2回/年	目標				2回	
		実績				2回	
	舞台公演:4回/年	目標	20回		12回	4回	
		実績	20回		12回	5回	
	文化体験プログラムの実施:10回/年	目標				10回	
		実績				6回	
県外プロモーション公演の実施:1回/年	目標			1回	1回		
	実績			1回	1回		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行商品造成に向けた説明会等の実施、舞台公演及び県外プロモーション公演の実施は、目標値を達成した。</li> <li>・文化体験プログラムの実施は、派遣先と派遣団体の日程調整がつかなかった等により、目標値を下回った。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(R4年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
	①旅行商品造成に向けた説明会等に参加した旅行者等の人数:50人	目標	50人	-	-	50人	50人
		実績	-	-	-	64人	-
	②舞台公演入場者における観光客の割合:15%	目標	0簿冊	-	17%	15%	16%
		実績	-	-	9.9%	11.3%	-
	③文化体験プログラムに参加した観光客数:500人	目標	500人	-	-	500人	500人
		実績	-	-	-	438人	-
	④県外プロモーション公演の入場率:7割	目標	70%	-	-	70%	70%
		実績	-	-	-	70.6%	-
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>①旅行商品造成に向けた説明会等に参加した旅行者等の人数は、旅行商品発表会等を実施し目標値を達成した。</li> <li>②舞台公演入場者における観光客の割合は、観光客へのプロモーション不足等から目標値を下回った。</li> <li>③文化体験プログラムに参加した観光客数は、派遣先と派遣団体の日程調整がつかなかった等により、目標値を下回った。</li> <li>④県外プロモーション公演の入場率は、沖縄の伝統芸能に関心のある層への事前ワークショップ実施等により目標値を達成した。</li> </ul>					

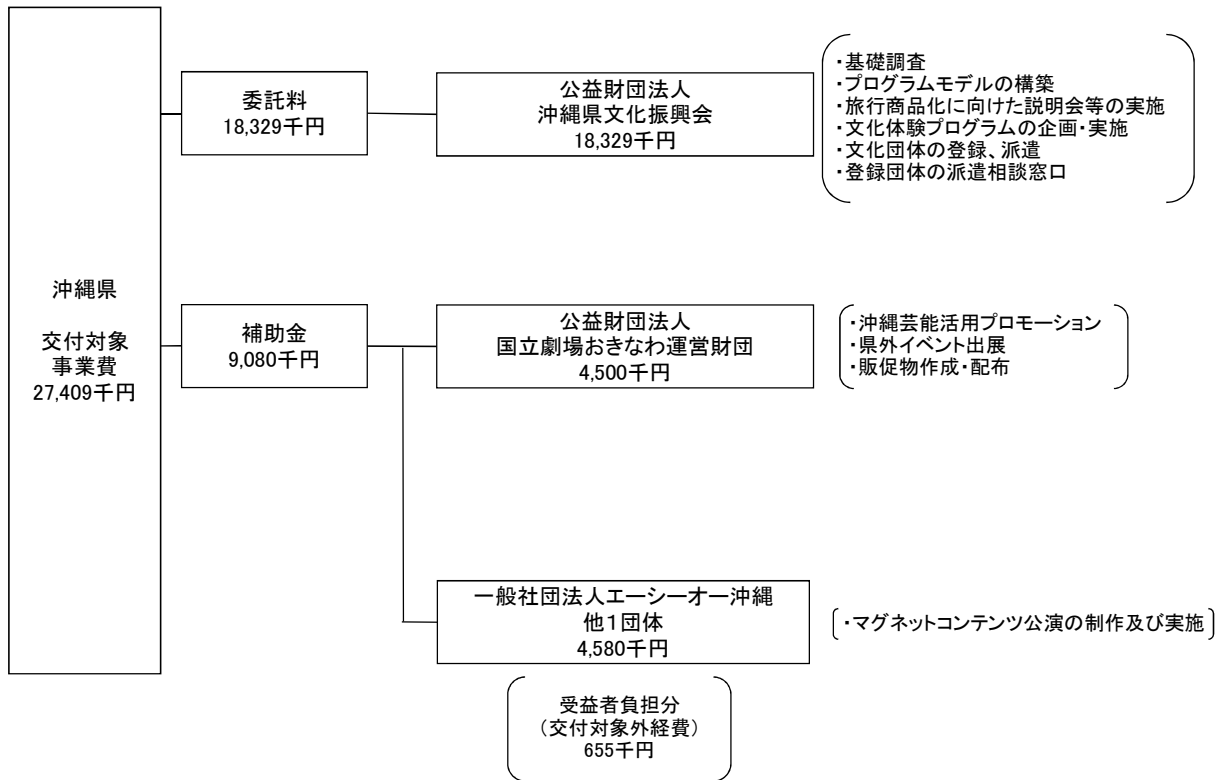
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①沖縄特有の文化資源に関する観光客への情報発信が不足している。 ②伝統芸能団体と観光関係事業者との繋がりが弱く、沖縄の伝統芸能のポテンシャルを観光分野に十分活かしていない。 ③伝統芸能コンテンツの旅行商品増加に向け、伝統芸能団体の商品開発能力向上及び営業力強化が求められる。	①観光客への効果的なプロモーションを検討・実施する必要がある。 ②伝統芸能団体と観光関係事業者を繋げる場を設ける必要がある。 ③伝統芸能団体の商品開発能力向上及び営業力強化を図る支援体制が求められる。

**今後の取り組み方針**

- ①沖縄の伝統芸能・マーケティング分野のアドバイザーの意見を伺い、効果的なプロモーションを検討・実施する。
- ②伝統芸能団体と観光関係事業者の交流の場を設け、沖縄の伝統芸能を観光分野に活かせる体制構築を目指す。
- ③伝統芸能団体向けセミナー等により、の商品開発能力向上及び営業力強化を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
28,064	27,409	21,928	5,481	0	0	655



資金の流 れの点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は公募選定方式で団体を選定した ○費目・用途については、額の確定時において、事業目的達成の観点から真に必要な経費かどうか、証書類を確認した結果、適正に執行されていた。 ○マグネットコンテンツ公募事業(補助事業)については、補助率を80%として受益者負担分は公演入場料等で確保することとしており、収入が多い場合は、補助額を減額することになるため、負担関係は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

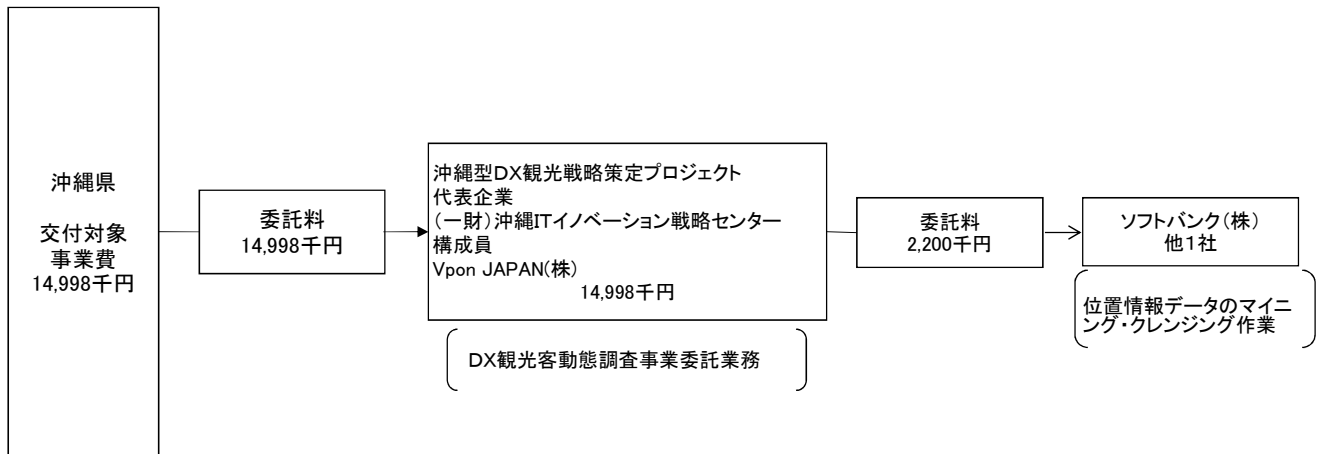
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	134	DX観光客動態調査事業		新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-エ-③		
担当部署名	文化観光スポーツ部観光政策課	事業実施(予定)年度	R4 ~ R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	データを活用した戦略的なマーケティングの推進		
事業内容	携帯電話のGPS機能を利用して観光客の居住地、性別、年代などの属性別に行動履歴等の調査分析を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					15,000
		(b)予算現額					15,000
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	15,000
	B. 執行済額						14,998
	うち交付金充当額						11,999
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		執行率はほぼ100%であり、計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
	圏域内観光客の平準化			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			目標				圏域内観光客の平準化
			実績				圏域内観光客の平準化
進捗状況説明		・平準化に向けて、観光客の季節ごと、市町村別の訪問状況について調査・分析を行った(取得データ件数:2019年度 122,344件、2022年度 62,626件) ・分析レポートについては、誘客プロモーション等実施機関に共有するとともに、観光客の平準化・分散化を図るため、観光拠点として重要性が高い市町村と調整した。					
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	沖縄旅行に対する観光客の満足度(国内客「大変満足」67.8%(令和2年度)の向上)		目標				観光客満足度の向上
			実績				観光客満足度の向上
	達成状況説明		・調査・分析結果から、魅力を高める観光資源や差別化のポイント、コンセプト等を設定し、各ターゲットの旅行ニーズを捉えた誘客プロモーション等を展開することで、観光客の満足度向上に寄与した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ターゲットマーケティングの展開にあたっては、データの収集・分析から戦略の立案、実施までを適切なタイミングで実施していく必要がある。</p>	<p>・調査分析結果の取りまとめを年度末だけではなく、できる限り早期に実施し、関係機関へと共有する必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・調査分析結果を四半期毎に取りまとめ関係機関に共有することで、属性別季節毎のターゲットマーケティングの展開に繋げていく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
14,998	14,998	11,999	2,999	0	0	0

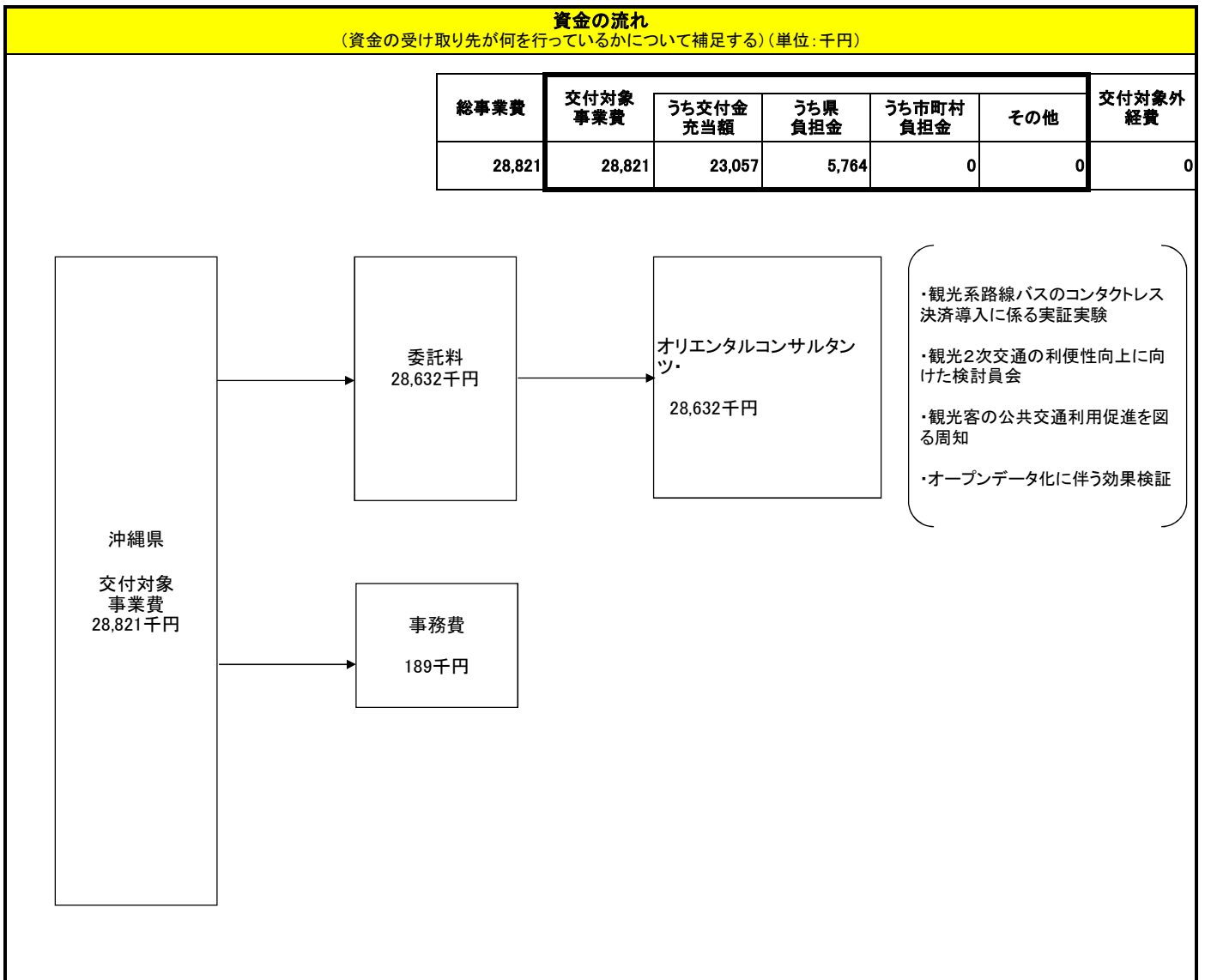


資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、企画提案プロポーザルにより選定したため、妥当であったと考える。</p> <p>○費目・使途については、実績報告書等を検査し、適正である事を確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	135 観光2次交通機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-エ-④				
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	H 29 ~ R4 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光2次交通の利便性向上及び利用促進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光客の県内移動の利便性向上を図るため、公共交通のコンタクトレス決済端末導入に係る実証実験等、観光2次交通の機能強化に関する取り組みを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	54,126		52,468		28,834
		(b)予算現額	54,126		52,468		28,834
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0				
		A. 計(b+d)	54,126	0	52,468	0	28,834
	B. 執行済額		53,480		52,060		28,821
	うち交付金充当額		48,274		41,648		23,057
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.8%	#DIV/0!	99.2%	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		・執行率は100%であり、計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	路線バス等のコンタクトレス決済端末導入に係る実証実験の実施	目標			実証実験の実施		
		実績			実証実験の実施		
	観光動態データの取得及び分析	目標			5,000サンプル		
		実績			9,263サンプル		
	・公共交通機関のコンタクトレス決済の実証実験の実施	目標				5社	
実績					3社14路線		
進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症の影響で、令和4年度上半期においては、コロナ前の観光客には戻っておらず、コンタクトレス決済の実証実験が5社の目標に届かなかったものの、コンタクトレス決済を導入した路線数は14路線となり、多くの路線で実証実験を行うことが出来た。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R13度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	実証実験後の民間事業者による自走化数	目標			4社	4社以上	
		実績			0社	3社	
	達成状況説明	・前年度に引き続き、今年度においても新型コロナウイルス感染症の影響の中、実証事業を実施することが出来たものの、当初想定していた5社ではなく3社となったが、実証実験に参加した3社すべてにおいて、令和5年4月以降もコンタクトレス決済を継続して実施することとなった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・コンタクトレス決済(非接触型決済)の普及については、国内に比べ、海外での普及が高いため、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、海外からのインバウンド観光客を対象とした実証実験が出来なかった。	・コンタクトレス決済(非接触型決済)の導入など、新しい生活様式への対応及び戻りつつある海外からのインバウンド観光客の公共交通の利用促進・利便性向上に向け、環境の整備が必要である。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>・コンタクトレス決済(非接触型決済)の普及については、国内に比べ、海外での普及が高いことから、今後、戻りつつある海外からのインバウンド観光客に対し、公共交通の利用促進・利便性向上のため、引き続き、民間事業者と連携し、端末の導入を促進に取り組む。</p>		



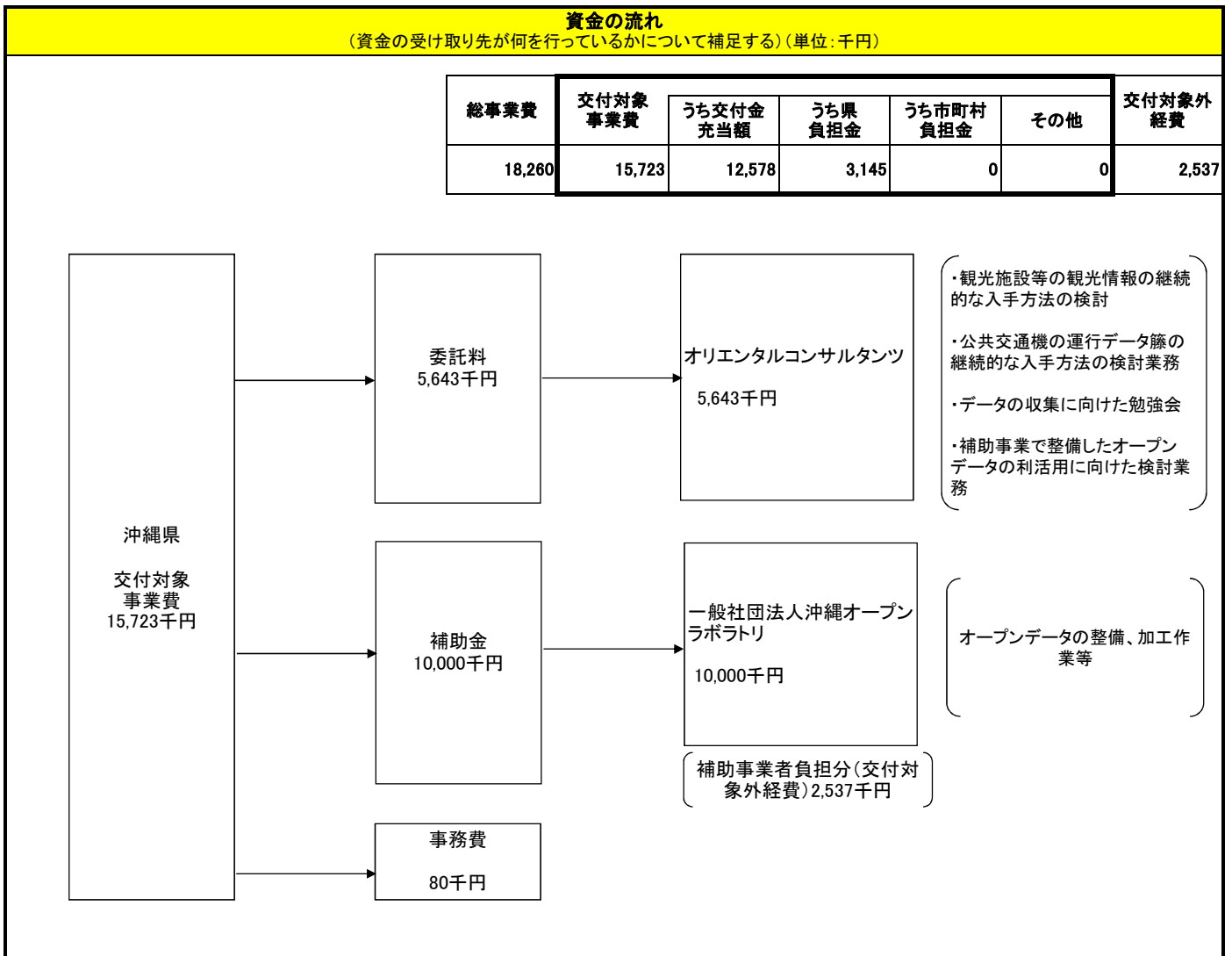
資金の流 れの点 検評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルにより、事業の内容によって選定したため、妥当であったと考える。 ○費目・使途が事業目的達成の観点から必要なものかなどについて、額の確定検査時に支出に関する書類確認を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

<b>事業番号・事業名</b>	137 観光情報基盤構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-エ-④ 観光2次交通の利便性向上及び利用促進			
<b>担当部署名</b>	文化観光スポーツ部観光振興課	<b>事業実施(予定)年度</b>	R4 ~ R8 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-1-(1)		
<b>事業内容</b>	MaaS等のICTを活用した新たなサービスの創出を促進するため、公共交通や観光施設等の情報を統一的な基準に基づき整備し、オープンデータとして継続的に利用できる環境を構築する。						
<b>効果発現年度</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】			R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度
	予算の状況	(a)当初予算額	0	0	0	0	15,750
		(b)予算現額	0	0	0	0	15,750
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	15,750
	B. 執行済額	0	0	0	0	15,723	
	うち交付金充当額	0	0	0	0	12,578	
	C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0	
執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.8%		
予算の状況の説明	・執行率は99.8%であり、概ね、計画的に執行できた。						
<b>活動目標(指標)及び進捗状況</b>	R4活動目標(指標)		進捗状況				
	観光基盤情報の収集整備件数		目標	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			実績				200件 382件
	進捗状況説明	・観光基盤情報の収集整備は、宮古、八重山地区の観光ビーチ情報を収集することで、目標値を達成した。					
<b>成果目標(指標)及び達成状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(〇〇年度)
	整備したデータのダウンロード件数		目標			300件	
			実績			322件	
	達成状況説明	・令和4年度に整備した観光基盤情に係るダウンロードは、322件となり、目標値を達成した。					



取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・アフターコロナや海外からのインバウンドの観光客の増加を踏まえ、オープンデータを活用した更なる観光情報基盤を構築する必要がある。</p>	<p>・観光客が最初に訪れる那覇空港や交通結節点において、オープンデータを活用した観光2次交通などの観光情報をデジタルサイネージなどで分かりやすく表示出来る方法などを検証する必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・那覇空港における観光客の移動手段などを分析したうえで、必要とする観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の方法などの検討に取り組む。</p>		

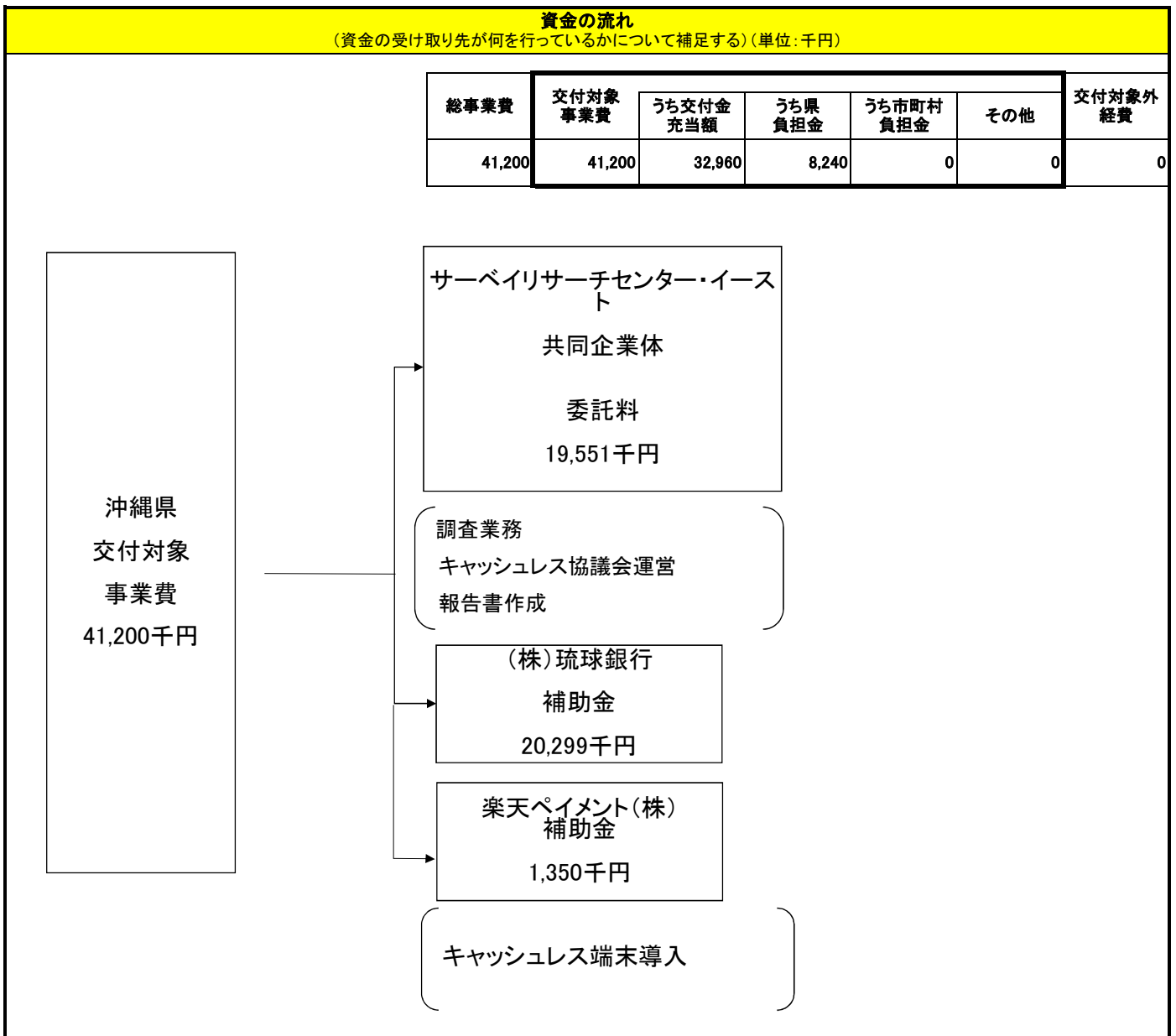


資金の流し、費用	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費用	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、企画提案プロポーザルにより、事業の内容によって選定したため、妥当であったと考える。</p> <p>○補助事業については、補助率の上限を80%にしており、適正な受益者負担と考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	142	コンタクトレス決済端末機導入整備事業		新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-エ-①		
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	R1 ~ R4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ICTIによる新たな観光体験の創出促進及び観光施設等における利便性向上 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本島北部・離島地域のコンタクトレス決済状況を把握する。</li> <li>・アンケート調査、聞き取り調査等を行い、コンタクトレス決済端末機導入にかかる障壁を把握する。</li> </ul>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和4年度以降)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	11,273		70,010		61,986
		(b)予算現額	11,273		70,010		61,986
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	11,273	0	70,010	0	61,986
	執行率(%) (B/A)	B. 執行済額	10,377		32,967		41,200
		うち交付金充当額	8,302		26,373		32,960
		C. 次年度繰越額			0	0	0
	執行率(%) (B/A)	92.1%	#DIV/0!	47.1%	#DIV/0!	66.5%	
予算の状況の説明	R4年度予算については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、県内決済事業者(県内主要銀行)の端末機普及と営業活動自粛のため、端末機導入が当初計画を下回ったことにより、補助金の執行残が発生した。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	①アンケート調査件数	目標				5,000件	
		実績				950件	
	②検討会議	目標				4回	
		実績				2回	
	③コンタクトレス決済端末機県内導入率	目標				把握	
		実績				把握済	
	進捗状況説明	①アンケート調査を行った結果、対象となる観光関連施設では人で不足等に伴う繁忙の影響等から、目標値を下回る回答数となったものの、950件の回答が得られたことにより、今後の施策の参考とすることができた。 ②新型コロナウイルス感染症の感染状況、会議参加者の日程や議事内容等を見直した結果、目標値を下回る2回の開催となったものの、出席者より広く意見を聴衆することができた。 ③県内の観光関連事業者(小規模)の導入率(30.6%)を把握することができた。					
	成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度
キャッシュレス導入店舗における、売上向上割合		目標			70%	70%	70%
		実績			39.6%	51.8%	
コンタクトレス決済端末機導入率(観光関連事業者が対象)		目標				80%	80%
		実績				30.6%	
達成状況説明		キャッシュレス導入店舗の売上向上割合及び導入率について、目標達成に至らなかったものの、導入事業者の5割が導入後の売り上げが向上したことにより、沖縄観光の消費喚起に一定の効果があつた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	アフターコロナの社会情勢を注視しながら、導入の必要性を検討する必要がある。	端末機設置の必要性を感じていない事業者に対して、端末機普及営業活動が促進できるように働きかけていく。
<b>今後の取り組み方針</b>		
キャッシュレス導入について、導入事業者の導入後の売上げが向上したことにより、沖縄観光の消費喚起に一定の効果があったことからアフターコロナの社会情勢を注視しながら、今後必要とされる取り組みを実施する。		

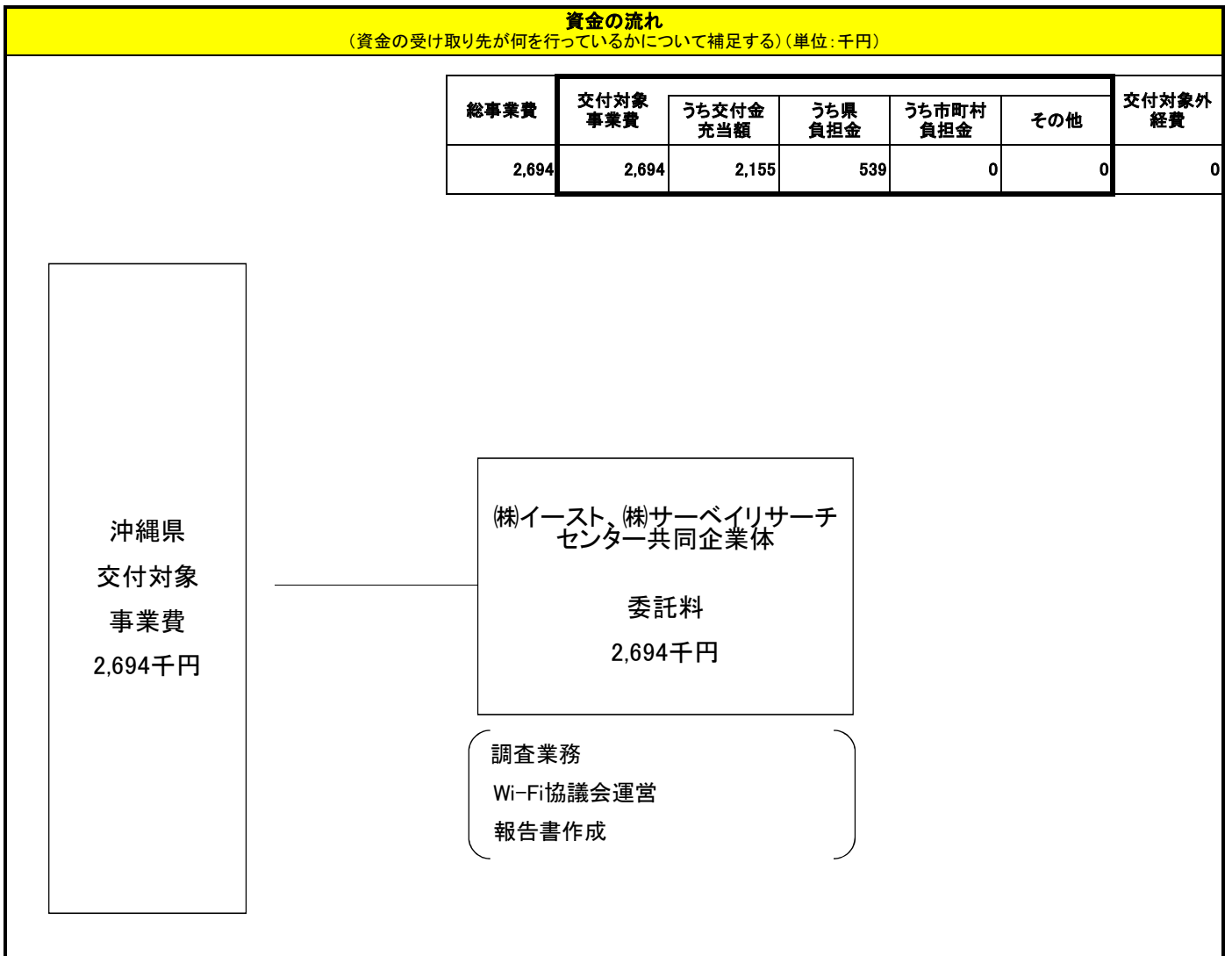


資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・用途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	145	Be.okinawa Free Wifi通信機器調査及び検討業務事業		新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-エ-②		
担当部署名	文化観光スポーツ部観光振興課	事業実施(予定)年度	R4 ~ R6 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄観光に適した、新たな通信規格を含めた公衆無線LANのニーズ調査及び普及に向けた検討に取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和4年度以降)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R3年度(繰越)	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					2,847
		(b)予算現額					2,847
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	2,847
	B. 執行済額						2,694
	うち交付金充当額						2,155
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94.6%
予算の状況の説明		執行率は94.6%であり、残額については、委託料の執行残が生じたことによるものである。					
活動目標(指標)及び進捗状況	R4活動目標(指標)		進捗状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	①アンケート調査	目標				10,000件	
		実績				227件	
	②Be.Okinawa Free Wi-Fi協議会でのAP・エリア拡大の課題・対策の検討	目標				4回	
		実績				2回	
進捗状況説明	①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光客数がコロナ渦前に戻らなかったことにより、目標とするサンプル数を達成出来なかった。 ②目標達成には至らなかったが、協議会において、AP・エリア拡大や、同Wi-Fiの利用者調査等の状況について協議を行い、認証作業簡素化に関する課題や、今後の対策に関する検討を行った。						
成果目標(指標)及び達成状況	R4成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	Be.OkinawaFreeWi-Fi認知度向上 (1)日本人 (2)外国人観光客	目標				各50%	50%
		実績				(1) 36.5% (2) 13.6%	
	Be.OkinawaFreeWi-Fiスポット数の増加	目標				10,000AP	10,000AP
		実績				3,544AP	
	達成状況説明	Be.OkinawaFreeWi-Fiについて、新型コロナウイルス感染症の影響による導入事業者のコスト削減等により、大幅減となった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	コロナ渦で落ち込んだWi-Fiスポット数を大幅に増加させる必要がある。	導入事業者への普及促進活動に加えて、減少幅の要因を明らかにしていく必要がある。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<p>大幅に減少したアクセスポイントの回復・増加に取り組んでいくとともに、Be.OkinawaFreeWi-Fiの利用者、導入事業者、指定事業者それぞれにメリットのあるフリーWi-Fi制度を確立するための仕組み作りを検討していく。</p>		



資金の 使途の 流れ、 点検 評価、 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(県分)検証シート【公表用】

<p>事業番号 ・事業名</p>	<p>154</p>	<p>戦略的MICE誘致促進事業</p>	<p>新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所</p>	<p>第2章-3-(2)-オ-①</p>																																																																																				
<p>担当部署名</p>	<p>文化観光スポーツ部MICE推進課 商工労働部アジア経済戦略課</p>	<p>事業実施 (予定)年度</p>	<p>H24 ~ R4 年度</p>	<p>沖縄振興基本方針 該当箇所</p>	<p>MICE振興とビジネスツーリズム の推進  Ⅲ-1-(1)</p>																																																																																			
<p>事業内容</p>	<p>沖縄MICE振興戦略に基づき、国内外での誘致・プロモーション活動を強化するとともに、沖縄MICEネットワークなど産学官と連携し、MICEの誘致活動や受入体制の整備、専門人材の育成等に取り組む。</p>																																																																																							
<p>効果発現年度</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 当年度    <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)</p>																																																																																							
<p>実施方法</p>	<p><input type="checkbox"/> 直接実施    <input checked="" type="checkbox"/> 委託    <input type="checkbox"/> 補助    <input type="checkbox"/> 負担    <input type="checkbox"/> その他(    )</p>																																																																																							
<p>予算額・ 執行額 【単位:千円】</p>	<p>予算 の 状況</p>	<p>R2年度</p>	<p>R2年度(繰越)</p>	<p>R3年度</p>	<p>R3年度(繰越)</p>	<p>R4年度</p>																																																																																		
	(a)当初予算額	288,371		273,483		220,559																																																																																		
	(b)予算現額	269,682		166,764		220,559																																																																																		
	(c)増減額(b-a)	▲ 18,689	0	▲ 106,719	0	0																																																																																		
	(d)前年度繰越額																																																																																							
	A. 計(b+d)	269,682	0	166,764	0	220,559																																																																																		
	B. 執行済額	249,815		162,239		218,271																																																																																		
	うち交付金充当額	199,852		129,791		174,616																																																																																		
	C. 次年度繰越額	0		0	0	0																																																																																		
	執行率(%) (B/A)	92.6%	#DIV/0!	97.3%	#DIV/0!	99.0%																																																																																		
	予算の状況の説明	<p>・令和4年度予算は、主に事業実施に係る委託料の経費を計上したところであり、令和3年度当初予算に比べ53,149千円減額となっているのは、新型コロナウイルス感染症の影響が長引いたため、リアルでのMICE誘致・開催支援等を減じたことによるものである。</p> <p>・執行率は99%であり、計画的に執行できた。</p>																																																																																						
<p>活動目標 (指標) 及び 進捗状況</p>	<p>R4活動目標(指標)</p>	<p>進捗状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国内外の展示商談会での商談件数</td> <td>目標</td> <td>230件</td> <td>230件</td> <td>20件</td> <td>300件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>380件</td> <td>56件</td> <td>63件</td> <td>71件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開催支援等の実施件数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>355件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>79件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MICEの受入体制の維持・拡充に向けた人材育成研修の実施(受講者延べ人数) (※令和2年度までは開催支援を活用したMICEへの参加者数)</td> <td>目標</td> <td>90,000人</td> <td>90,000人</td> <td>240人</td> <td>300人</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>78,067人</td> <td>72,505人</td> <td>120人</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MICE専門家等アドバイザーの派遣件数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動件数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>20件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>17件</td> <td>19件</td> <td>44件</td> <td>45件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">展示会等への開催支援件数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">展示会等誘致・開催検討会及び人材育成セミナーの実施回数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>						R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	国内外の展示商談会での商談件数	目標	230件	230件	20件	300件	実績	380件	56件	63件	71件	開催支援等の実施件数	目標	-	-	-	355件	実績	-	-	-	79件	MICEの受入体制の維持・拡充に向けた人材育成研修の実施(受講者延べ人数) (※令和2年度までは開催支援を活用したMICEへの参加者数)	目標	90,000人	90,000人	240人	300人	実績	78,067人	72,505人	120人	183人	MICE専門家等アドバイザーの派遣件数	目標	-	-	-	5件	実績	-	-	-	6件	展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動件数	目標	-	-	20件	20件	実績	17件	19件	44件	45件	展示会等への開催支援件数	目標	-	-	-	3件	実績	-	-	-	2件	展示会等誘致・開催検討会及び人材育成セミナーの実施回数	目標	-	-	-	2回	実績	1回	2回	1回	2回
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																																																																																				
国内外の展示商談会での商談件数	目標	230件	230件	20件	300件																																																																																			
	実績	380件	56件	63件	71件																																																																																			
開催支援等の実施件数	目標	-	-	-	355件																																																																																			
	実績	-	-	-	79件																																																																																			
MICEの受入体制の維持・拡充に向けた人材育成研修の実施(受講者延べ人数) (※令和2年度までは開催支援を活用したMICEへの参加者数)	目標	90,000人	90,000人	240人	300人																																																																																			
	実績	78,067人	72,505人	120人	183人																																																																																			
MICE専門家等アドバイザーの派遣件数	目標	-	-	-	5件																																																																																			
	実績	-	-	-	6件																																																																																			
展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動件数	目標	-	-	20件	20件																																																																																			
	実績	17件	19件	44件	45件																																																																																			
展示会等への開催支援件数	目標	-	-	-	3件																																																																																			
	実績	-	-	-	2件																																																																																			
展示会等誘致・開催検討会及び人材育成セミナーの実施回数	目標	-	-	-	2回																																																																																			
	実績	1回	2回	1回	2回																																																																																			
	進捗状況説明	<p>・商談会は、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大は世界各地で増減を繰り返したが、重症化するケースが減少したことから、対面形式での開催が再開された。</p> <p>・MICE貸し切りバス等運行支援等の開催支援等は、前年度と比べてキャンセル等が減り実施に結びついている。</p> <p>・MICEの受入体制の維持・拡充にむけた人材育成研修は、MICE業務経験3年未満の離島を含む広域で、県内MICE関連企業・団体に勤務する者に対し、MICEの基礎を身につけ、営業・企画能力向上を目的に、オンライン及び集合型により実施した。</p> <p>・専門アドバイザーの派遣は、サステナビリティへの配慮等、MICE主催者ニーズの多様化に対応する助言及び指導をMICE関連事業者に対し実施した。</p> <p>・展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動は、沖縄に親和性のある産業分野へ多角的にアプローチを行った結果、目標の20件を上回る45件の実績となった。</p> <p>・展示会等への開催支援件数は、年度途中に「主催者支援金支払要綱」を作成し、展示会等主催者に2件支援を行うことができた。</p> <p>・展示会等誘致・開催検討会及び人材育成セミナーの実施回数は、沖縄MICEネットワークを通じた展示会等誘致・開催検討会と併催で2回実施することができた。</p>																																																																																						

成果目標（指標） 達成状況	R4成果目標（指標）		基準値 （〇〇年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 （〇〇年度）
		目標	—	—	—	1,100件	—
県外・海外からのインセンティブ旅行件数	実績	—	341件	148件	※集計中	—	
	目標	—	—	—	200件	—	
国内・国際会議開催件数 ※ICCA(国際会議協会)基準及びJCCB(日本コン グレス・コンベンション・ビューロー)調査に基づくもの	実績	—	8件	1件 ※JCCB分はコロナで 未調査	※集計中	—	
	目標	—	160団体	200団体	160団体	—	
MICEネットワークの強化:会員数	実績	—	206団体	221団体	215団体	—	
	目標	—	—	—	3件	—	
有望展示会等の誘致	実績	—	1件	2件	0件	—	
	目標	—	—	—	80件	—	
展示会等の開催件数	実績	—	28件	38件	※集計中	—	
	達成状況説明	<p>令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大が日本及び世界各地で増減を繰り返したが、重症化するケースは減少したことなどから、まず日本国内でMICE、特にインセンティブ旅行開催件数が増えてきた。令和4年10月からは、「国際的な人の往来再開に向けた措置」が大幅に緩和され、海外からの個人旅行が実質解禁となり、香港、大連、韓国から沖縄県への直行便の就航再開、それに伴うインセンティブ旅行も再開されている。</p> <p>沖縄MICEネットワークでは、令和4年度に総会（1回）、幹事会（3回）、勉強会（2回）、MICE産業部会（4回）、会員交流会（1回）を開催し、機関紙2回を発行している。</p> <p>令和4年度の有望展示会等の誘致については、沖縄県での開催に前向きな主催者に対し、キーパーソンの紹介を行うなど、開催に向けた調整等を継続的に実施しているが、会場の空きがない等の理由により0件となった。</p>					

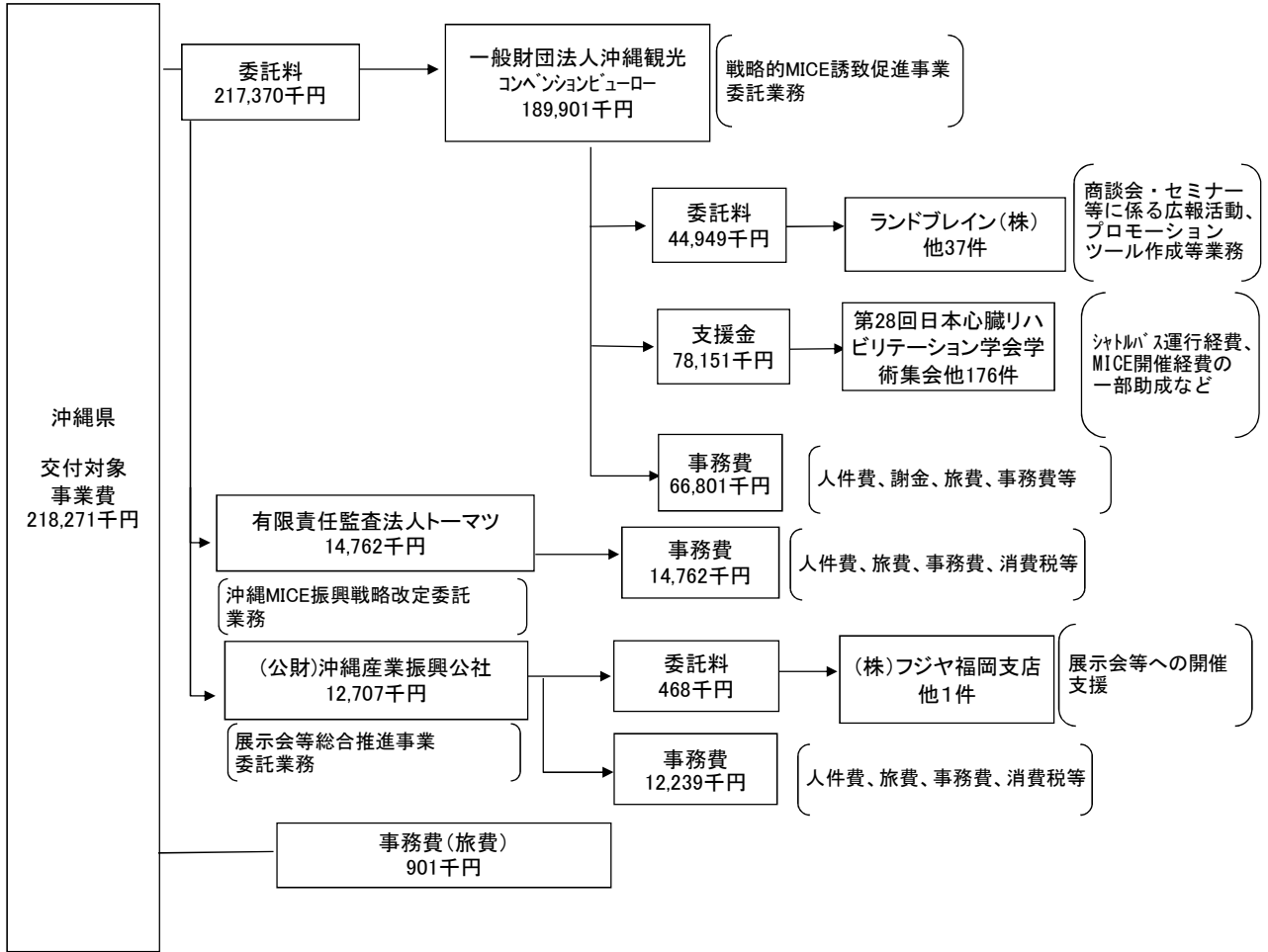
R4-No.154

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	<p>①アフターコロナとなり海外との往来も再開され、国内外問わず都市間でのMICE誘致競争が激しくなる。</p> <p>②デジタルトランスフォーメーションのさらなる推進が求められている。</p> <p>③サステナビリティのさらなる推進が求められている。</p> <p>④1,000人以上のインセンティブ旅行や学会の受入ができる施設やMICEに精通した人材に限られていることから機会損失が生じており、受入体制の確保、向上が必要である。</p>	<p>①沖縄でのMICE開催のリピート化を促す新たな提案やフォローアップを進める。</p> <p>②MICE人材のデジタルリテラシーの向上を図る。</p> <p>③作成した「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」等を活用し、サステナブルなMICE開催を支援するとともに、モデルケースとなる取り組みを発信する。</p> <p>④大型案件の分散開催が可能となるよう各施設やホテル事業者の連携強化のほか、MICEビジネス機会の創出など戦略的な取り組みが必要である。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>①沖縄MICEネットワークを活用して産学官の連携を強化し、情報の共有や人材育成を行う。</p> <p>②質の高いサービスの提供に向けて魅力あるMICEコンテンツの開発を促進する。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症を経て流動化したMICE市場でより積極的な誘致を実施する。</p> <p>④都市間の競争に勝てるようデジタルトランスフォーメーションやサステナビリティ等、新たな社会的取組を推進することにより他都市との差別化を図る。</p> <p>⑤大型案件の受入に向けて、開催時期や開催地の分散化などを関係者と検討する。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
218,271	218,271	174,616	43,655	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業はMICE関連事業者等と連携を図り官民一体となってMICEの誘致・促進を行うものであるため、公的性質を持ち、かつ、県のMICE関連施策及び全県的なMICEに関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 ○費目・使途については委託料の検査時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	